

ご注文の際、プライス・コードもご記入下さい。
プライス・コード{a ¥ 1 6 9 0 / A ¥ 1 8 9 0 / B ¥ 2 0 9 0 / C ¥ 2 2 5 0 / D ¥ 2 4 9 0}
(表示価格は税抜き) 別途消費税が加算されます

www.tambourine-japan.com email: song@tambourine-japan.com

注文方法サイト: <http://www.oct-net.ne.jp/tambouri/order.htm>

[CD/SCANDINAVIA]

- *NORDIC FIDDLERS BLOC: Deliverance C
(ノルウェーの Olav Luksengård Mjelva、スウェーデンの Anders Hall そしてシエトランドの Kevin Henderson の各地を代表するフィドル名人三名による Nordic Fiddlers Bloc の二枚目。
前作同様、三人それぞれが自国のフィドル・ミュージックの特徴を見事に奏で上げていて、一人が自分のレパートリーを演奏する時には、他の二名は脇役。こだわりの曲をそれぞれの伝統音楽の、特に郷愁をそそるような独特な味わいがよく発揮されていて、唸ってしまう。競演というのが功を奏してるとしか思えない+αの見事さだ。2016 作。Nordic Fiddlers Bloc)
- *ODE: Och Hela Varlden Den Log C
(Ode はスウェーデンのトラッド系生え抜きのミュージシャンのトリオ。その三名はニッケルハルバ 奏者として内外で数々の賞を受賞し、チャレンジ精神旺盛なミュージシャン、シンガー、ダンサーの Emilia Amper {ニッケルハルバ、ヴォーカル、パーカッション} と Ale Moller Band や Sofia Karlsson のバック・ミュージシャン等で活動する Olle Linder {ギター、パーカッション、ヴォーカル}、そしてマルチ楽器演奏家の Dan Svensson {各種パーカッション、ギター、口琴、ロー・ホイッスル、フルト、ヴォーカル}。スーパー・トリオが創作する音楽は、スウェーデンの伝統音楽にアラブ音楽、中世音楽、ジプシー音楽+αを混ぜた異種交配音楽。2013 作。Gammalthea)
- *BLINK: Blink B
(Blink はフィンランド、スウェーデン、エストニア、デンマーク、ノルウェー出身の女性 4 人組。4 名のヴォーカルと各人がニッケルハルバ、カンテレ、フィドル、オートハープ等を演奏。基本的に北歐的に素朴な伴奏による素朴で美しくまた力強くもあるシンギング & ハーモニーが素晴らしい。Produced by Maria Kalaniemi。2011 作。NORCD)

[CD/LAPLAND]

- *WIMME & RINNE: Human B
(ヨイク歌手の Wimme Saari とクラリネット奏者の Tapani Rinne のコラボ・アルバム。二曲でノドをふるわず Elie Sofe Henriksen のまるで奄美か沖縄の唄者のような古老風ヨイクで幕開けする本作は、実質的にはヨイク最前線そして結果的にワールド・ミュージック最前線の音楽に挑んできた Wimme Saari のソロ的内容で、その延長線上のヨイク。ユニークなのは、クレジットされている楽器以外のリズム音や擬音などの不思議な効果音が施されていて、太鼓のヨイクの世界へと誘う感覚に襲われる。彼にしか創作できないラディカルなヨイクの世界だ。唯我独尊。2017 作。RockAdillo)

*INGA RAVNA EIRA/BIRET R. SARA/R. A. GUTTORM:Gilsí/Skilfu B
(副題“Electric Jazz Yoik Poetry”。二人の女性ヨイクのシンガーと一人の女性の語りによる先鋭的なヨイク音楽。音楽は語りを中心にしてヨイク・スタイルのヴォーカルがバック・ヴォーカルを務め、或いはコーラス、或いはヴォーカルで共演し、二人の演奏家が土俗的で妖艶なサウンドを鳴らす。音楽の核にヨイク本来の呪術性が脈を打っていて、その革新志向の音楽性と相まって圧倒されてしまう。2012 作。DAT)

[CD/ ICELAND]

*FUNI:Flúr C
(Funi は Bárá Grímsdóttir と Chris Foster のデュオ。英国トラッド・シンガーの Chris Foster がアイスランドのトラッド・シンガーの Bárá と活動を始めたのは 2001 年。本作の主役は Bárá。Chris は Bárá の清いシンギングを引き立たせるような役目で、ギターを爪弾き、ハーモニーする。本作は二人が見つけたアイスランドの民謡集の色合いが濃い、英国トラッドの美意識を高めた凜とした孤高感、アイスランドの極北感とイメージが重なって、珠玉の北欧トラッド・アルバムとなっている。Chris の Bárá のシンギングに寄り添う巧みなギターの伴奏も耳に心地よいが、アイスランドの擦弦楽器のラングスピルやカンテレやハンマードルシマーの伴奏も極北感が感じられて、雪の結晶を見るように清々しい。本作は Chris Foster の新作“Hadelin”を本人から仕入れたときに Chris から教えてもらって知った CD です。ちなみに Bárá の 2003 年作“Funi”はタムボリンのベスト・セラー。2013 作。Green Man Productions)

*OLOF ARNALDS:Innundir Skinni A
(新たにデザインされた Olof の顔が表紙の特製ジャケット装丁。ケースを外せば元の装丁。本作が二枚目という不思議な魅力のアイスランドの女性シンガーだ。Olof のうたう声は今にも消えそうなか細い声で、気まぐれそうな独特の唄は、Vashti Bunyan や Tony Kosinec とイメージが重なる。“Surrender”という唄ではアイスランドの鬼才シンガーの Bjork がゲスト・ヴォーカルで、呪術的ムードを振りまき、極北的神秘性を極めてもいる。唄はアイスランド語と英語。極めて稀有な魅力の愛すべき SSW だ。2010 作。One Little Indian)

[CD/DENMARK]

*HELENE BLUM & HARALD HAUGAARD:Julerosen B
(デンマークの歌姫 Helene Blum とデンマーク屈指のフィドラーの Harald Haugaard のデュオによる新作。本作はクリスマス・シーズン向けの「祝祭」と「祈り」のアルバムで、Helene のレパートリーはデンマークのトラッドや Emil Bønnelycke のようなデンマークの詩人の詩や隣国のトラッドにまで及び、それらの「祝祭」と「祈り」の詩歌を芯のしっかりした美声で、軽やかに、厳かに、楽しげにシンギングする。クレジットにはない 11 曲目に収められたヒドゥン・トラックは、Helene の清楚なシンギングによる胸キュンな曲。

Timo Alakotila, Tapani Varis, Leo Svensson, Mikkel Grue, Sune Rahbek のフィンランド、スウェーデン、デンマーク混成のバンドの音楽は北欧トラッド+独創的な音楽を創作している。DVD 型 CD。2016 作。Westpark)

*FROMSEIER ROSE: Contradiction B

(スコットランドやアイルランドのフィドル音楽に影響を受けたという女性フィドラーの Fromseier Rose と米国人ピアニストの Michael Rose の二人組。Michael は縁の下の力持ちというか、脇役的立場で、主にアイルランドとスコットランドの曲を Fromseier は、優美に晴れやかに演奏する。女性的というか、ヨーロッパ的というかトラッド的な土臭さが薄いのが、清々しい。そんな中、アイリッシュ・シンガーの Niamh Parsons が三曲で、見事なシンギングを披露し、釘付けにする。限定再入荷。Fromseier Rose)

*BONEZONE: In Session B

(ZAR や Moving Cloud のメンバーらによって結成されたアイリッシュやスコティッシュをレパートリーにする五人編成のバンド。心地よいバンジョーとフィドルの響きと共に田舎っぽいというかのほほーんと心地よい音楽を風のように演奏する。Yirdy のヴォーカルは渋い渋い。2007 作。Go')

*HARALD HAUGAARD: Burning Fields B

(トラッド、ジャズ、ロック、ハードロック、クラシック等など、好きな味付けで、自由自在にフィドルを演奏しまくる。おまけにデンマーク随一の歌姫の Helene Blum の美声を 2 度も活用してもいる。創作意欲満開の多才で多彩な Harald の百花繚乱音楽。w. Helene Blum, Roger Tallroth, Tapani Varis, Rasmus Zeeberg, Sune Rahbek, etc. 2009 作。Pile House)

*LYDOM & HOIRUP: Svip Svap Svovlstikke B

(兩人ともデンマークのフォーク・シーンではヴェテランの、片やアコ&ハーモニカ奏者の Sonnich Lydom と片や世界的ギター奏者の Morten Alfred Hoirup のデュオ・アルバム。本作は Lydom が見つけ出したデンマークの伝統曲を中心にした選曲で、軽快なダンス曲を中心に中世風ダンス曲等を多彩に演奏する。2010 作。Go')

*HAUGAARD & HOIRUP: Rejsedage / Travelling D

(7 度もの賞受賞のフィドルとギターの二人組の結成 10 周年記念 CD/DVD セット。Haugaard の家の森の中で収録された本作は半分がデンマークのトラッドで残り半分が二人のオリジナル。デンマークのフォーク・ミュージックの発展に貢献してきた名演奏家二人による数々演奏はルーツ回帰的で美しく、そして華やかである。故郷の音楽と旅の記憶を心で奏でた素晴らしい音楽。w. Tapani Varis, Sonnich Lyddom, Sune Hansbaek。DVD は PAL で 2007 年のコペンハーゲンの小さなカフェでのライブで 38 分とインタビューが 41 分。英語字幕付。2008 作。Go')

*HAUGAARD&HOIRUP: Gaestebud/Feast B

(Haugaard&Hoirup の本作は欧米の音楽仲間達 {Sofia Karlsson, Ale Moller, Le Vent Du Nord, Alasdair Fraser, Natalie Haas, Karen Tweed, Helen Davis, Eileen Ivers, Karen Mose&Helene Blum, Niall Keegan, Channe Nussbaum 等} をゲストに迎え、ある時は彼等を立て、

ある時は彼等と競演し、音楽を楽しみかつ新たな友情的交配音楽をごく自然に流れるように生み出している。2005 作。Go')

- *HAUGAARD&HOIRUP:Let's Dansk! B
(Haugaard&Hoirup の 2001 年のドイツでのライブ。フィドルとギターとでデュオ・トリオの素晴らしさを生き生きと楽しませ味わわせてくれる最高のライブ盤。全 15 曲。ハウガードのフィドルは既に天下一品！英語曲目解説付。2001 作。ドイツ Stockfisch)
- *HARALD HAUGAARD・ANDERS MOGENSEN:Spirits B
(H. Haugaard の本作はグエテラン・ジャズ・ドラマーとの共演。デンマークのフィドル曲や中世バロック等デンマークのフォーク・ミュージック中心の選曲。実際には Anders のバンド仲間のギターとダブルベースも参加し、Harald&ジャズ・バンドによるデュオ・トリオと言えるもの。2004 作。Go')
- *AFENGINN:Akrobakkus A
(バルカン音楽っぽいのがクリスマスっぽいのがジャズ音楽っぽいのがウクレレ音楽っぽいのをちゃんこ鍋にして煮込んで栄養満点のご馳走音楽を創作。2005 年の "Danish World" 賞優勝。2006 作。Tutl)
- *EIVOR:Live A
(フェロー諸島の歌姫 Eivor Palsdottir のライブ集。Eivor はアイスランドの音楽賞 3 部門入賞やシンガー・ソングライター・コンペティション優勝等ワールド・クラスの女性シンガーであることはご存知の通り。本作は 2009 年 10 月の東京でのライブを含む様々な場所でのライブ集。妖精に最も近い感性を持つシンガー。2009 作。Tutl)
- *KARL SKAARUP:Musiker A
(fRoots 誌で絶賛した評者だけではなく、この 85 年の音楽人生を数える 85 歳の老人の若々しいアコースティック演奏には舌を巻く。この歯切れのよいリズムが何とも気持ちいいし、長年ダンスのための音楽で培った自信のようなものが一音一音から体感できる。孫の年齢の Kristian Bugge がフィドルで一体となった演奏を繰り広げるが、音楽には年齢差は一切ない。P20 の英語ブックレット付。2009 作。Go')
- *ESKIL ROMME:Himmerlandsmelodier A
(1982 年からデンマークの田舎で農夫をしながら音楽生活を愉しんでいるというソプラノ・サクソ奏者の四季折々の風薫る音楽。西風や野原や生き物や家族や旅や春夏秋冬等からイメージを膨らませた音楽。本人は Karen Tweed {イングランド}, Morten Alfred Hoirup {デンマーク}, Avi Solomon {カナダ}, Ditti Fromseier {デンマーク}, Peter Rosendal {デンマーク}, Andrzej Krejniuk {ポーランド} 等の客人を迎え、共に演奏すりことを愉しみ、客人達は Eskil のサクソから生み出される音楽の風景を共に愉しんでいるかのよう。心優しい音楽。2009 作。Tutl)
- *SERRAS:O B
(Herald Haugaard {フィドル}, Hans Mydtskov {サクソ}, Sune Hansbaek {ギター}, Sune Rahbek {トランプス}, Mads Riishede {ベース} のフォーク・ロック・バンド。彼らが創作するフォーク・ロックはどこか北欧独特なメロコリクさを漂わせ、地響きするほど重厚。夏の開放感ある北欧の音楽とは対照的な冬の間の憂鬱さのようなもの感じられるもの。2008 作。Go')
- *SERRAS:Secondhand B
(Herald Haugaard もメンバーの Serras の 2001 作。横綱級フォーク・ロックで圧

- 倒する。マルチメディア機能付で、CD-ROMにはコンサート・ビデオ収録。Go')
- *ANJA PRAEST MIKKELSEN:Hemmeligheden/The Secret B
 (女性クラリネット奏者 Anja の本作はその響きからクリスマス・クラリネットの響きと重なるが、よく聴けば、生み出される音楽は詩情豊かで、音楽はデンマークのダンス音楽の範囲の音楽。彼女の両親はフォーク・ダンサーという。完全な独奏はなく、フィドル、ピアノ、リュウゲルホーン、アコ、ギター、チェロ、タブなどとの共演で、繊細で瑞々しい女性的な感性が全編に行き渡った品のよい曲集として結実している。2008 作。Go')
- *BALTINGET: Alive B
 (フィドル、アコ、ギター、ベース、パーカッションの今最も勢いのある 5 人組ダンス・バンドの本作は古い楽譜集などから見つけ出したダンス曲などを生き生き踊れる曲に蘇らせている。これぞデンマークのダンス音楽。イングランドなら Old Swan Band かな。2008 作。Go')
- *POUL LENDAL: Onskebarn B
 (この P. Lendal なるマルチ・インストゥルメンタリストによる本作のスケールの大きさには恐れ入る。フィドルが一番の得意楽器のようだが、アコーディオンやニッケルハルパ【と想われる】やカテレや口琴等をフィーチャーし、トラッドのグループ編成で繰り広げられる音楽はデンマーク～北欧のダンス音楽やトラッドの薫り濃厚。w. Karen&Anna Mose, Morten Alfred Hoirup, Bitten Lendal, Keld Norgaard, Carl Erik Lundgaard, etc. 全 22トラック。2005 作。Go')
- *KIRSTINE SAND: Det Dansende Par B
 (Carl Nielsen Academy of Music 出身の若手女性フィドル奏者の瑞々しいデビュー・アルバム。2007 作。Go')
- *KRISTIAN BLAK&YGGDRASIL: Askur C
 (1981 年結成のフェロ・諸島のジャズ・ロック・バンドの新譜。2 枚組。1982～2006 年の間のライブ音源からの編集盤。5 曲で Eivor Palsdottir がヴォーカル担当。2007 作。Tutl)
- *FAERD: Faerd A
 (Back In Stock。Karen Tweed と Ian Carr を含む 5 人組の 1 枚目。英語解説付。2002 作。Tutl)
- *FAERD: Logbok A
 (デンマークのフィドル名手の Peter Uhrbrand にアコーディオンとサクソとヴォーカルの Eskill Romme そしてスウェーデン人ギター&ベース奏者で Trio Mio の Jens Ulvsand のトリオ。フェロ、デンマーク、スウェーデン、ノルウェー、オランダ、シエラント、Karen Tweed に捧げた曲や Karen Tweed に教わった曲等フェロ周辺の音楽を前作同様波に揺られるように心地よく演唱する。圧巻はゲスト・ヴォーカルの Julie Hjetland の 2 曲。2006 作。Tutl)
- *TOVE DE FRIES&MALENE D. BECK: Balance B
 (フィドルとピアノによる優雅なダンス曲やケープ・ブレトン・スタイルのダンス曲など軽やかに演奏する。フォーク・ダンス・ファンにはくすぐられる音楽。2003 作。BAL0103)

[CD/SWEDEN]

- *DOGGERLAND: No Sadness Of Farewell B
 (英国人 Richard Burgess {ヴォーカル、コンサティナ、ギター他} とスウェーデン人北欧トラッドの名演奏家 Anders Ådin {ギター、ハーモニカ、ティンパニ}

の二人組“Doggerland”のデビュー作。聴くなりリスニング・ルームの空気が変わった。英国フォーク&トラッド的感性なのだが、おそらく北欧の自然環境や生活やトラッドの影響だろう。感性が清々しくって、夢想的というか、Richardのシンギングもイングランド、北欧トラッド混在のアコースティック・サウンドも、その究極の美しさに息をのむ。Richard Burgessなるシンガーの名は初耳なのだが、彼のシンギングに加えて、Andersの演奏を含む二人の演奏の見事さは、まさに孤高。英国の伝統歌や北欧の伝統歌に加え、Ewan MacCollやRichard Thompson曲などをDoggerlandならではの感性で彩りきっている。w. Kevin Henderson, Mats Eden. 2017作。Westpark)

- *KRAJA: Isen Sjunger B
(2016年のクリスマスにKraja結成15周年を迎えたスウェーデンの女性四人組アカペラ・グループのKrajaのクリスマス・アルバム。本作は5枚目。本作は伴奏は一切無し。スウェーデン他の伝統的なクリスマス・シーズンの唄を中心に純白な四つの歌声でアカペラする。その宇宙的で瞑想的な神聖さは、ふとアイルランドのAnunaを思い浮かべる。唄もジャケットもブックレットもすべてが純白色。そしてディスクは・・・氷の世界？2016作。Westpark)
- *RAMLOSA KVALLAR: Nights Without Frames (1993作。Resource) C
- *KEBNEKAJSA: Electric Mountain (1993作。Resource) C
- *GARMARNA: Vitrad (1995作。Xource) B
- *GARMARNA: Hildegard Von Bingen (2001作。MNW) B
- *GROUPA: Fjalar B
(Sofia KarlssonがヴォーカルのGroupaの2002年作はスウェーデンのトラッドの奥行き深く、清新なスピリットみなぎる無敵のトラッド。北欧トラッドの傑作。2002作。Xource)
- *AHLBERG, EK & ROSWALL: AER C
(Ranarimのメンバーでスウェーデンを代表するニッケルハルパ奏者のNiklas Roswallと女性フィドル奏者のEmma Ahlbergとギター奏者のDaniel Ekのトリオの三枚目。スウェーデン北部のメーデルパッド地方の古いフィドル曲や祖父から学んだ曲や複写本から見つけ出した曲などフォークやクラシックのジャンルを超えた曲をトラッド・ミュージシャンとしての鋭い感性で愛情深く演奏した素晴らしいアルバム。魂の響演と言ったら、堅苦しくなるが、そう言いたくなるほど、響演の質が非常に高い。音の響きすべてが、誠心誠意磨き抜かれた北欧サウンド。2015作。Westpark)
- *ULRIKA BODEN: Ratt Nu Ar Det Pa Tiden A
(Ulrikaが個人的に影響を受けたフォーク収集家Frans Bergvall {1903-95}と古代の歌唱スタイルを受け継ぐシンガーのKarin Sikstrom {1899-1981}の二人から学んだ伝承歌集。2004作。Drone)
- *DRAUPNER: Halsingland C
(Henning Andersson {フィドル}, Goran Antonsson {フィドル}, Tomas Lindberg {ギター}の男性三人組のDraupnerの本作は彼らの出身地「ヘルシングランド」をタイトルにしたアルバム。二台のフィドルと一本のギターが紡ぐ音楽の何と美しいこと！雪が舞う音楽というか、雪の結晶のよ

うな音楽というか、二台のフィドルは絡み合いながら北欧のダンスのリズムで舞い踊りするのだが、その演奏の緩急が見事で、勢い北欧トラッドの極めつけの美しさを描ききっている。2013 作。Dimma)

- *SIMON SIMONSSON, OLLE SIMONSSON, KJELL-KRIK ERIKSSON
& JOEL BREMER:Pigtjusarsvang C
(1945 年、1947 年、1971 年、1978 年生まれのフィドル奏者三名とヴァイオリン奏者一名の偏った編成のスウェーデンのダンス音楽グループ。四人の楽師が奏する音楽は彼らが普段の暮らしの中で、愛し、楽しんだダンス曲。味のあるフィドルの音が最高。2013 作。Dimma)
- *TRANOTRA:Trading Nordic Tradition C
(スウェーデン、ノルウェー、フィンランド、デンマークの四名 {一姫三太郎} の若者による汎北欧トラッド・バンドの爽快デビュー作。楽器編成はフィドル二台、アコーディオン、クラリネット。この四名、若造だからと言って馬鹿には出来ない。いやはや北欧トラッド風味溢れる爽やかな音楽は物凄く気持ちが良い。即席のバンドで、音合わせ程度のレベルかと思いきや、複合的な演奏の妙技が素晴らしく、しかも音楽がタイト。クラリネットの低いリズム的な音が結構面白い。2013 作。Gammalthea)
- *HOVEN DROVEN:Rost A
(Hoven Droven の 2011 年作。2011 作。Westpark)
- *HOVEN DROVEN:Hippa A
(Hoven Droven の Great な 2001 年作。Home)
- *HOVEN DROVEN:Turbo (Great!2004 作。Home) A
- *CHRISTER LUNDH:Di Gamlaste Bidana B
(1962 年にテープ・レコーダーを買って以来、老人の唄や音楽や語りの録音は何百にもものぼるといふ。Christer は伝統歌や数百年前作曲の唄等を微妙にトーンを震わせて、うたい聴かせるようにうたう。この震えた感じと穏やかな歌唱がルンペンぽいといふかスウェーデンの古謡の不思議な魅力を生んでいる。様々な古びた唄が Christer のぬくもりのある唄を通して、魅力的な物語歌へと変身を遂げる。2009 作。Nordic Tradition)
- *MIKE MARSHALL & DAROL ANGER WITH VASEN B
(M. Marshall {マントリン}&D. Anger {フィドル} とスウェーデン屈指のトラッド・トリオの Vasen との共演盤。は強烈。Vasen の音楽を核に、Mike&Darol が巧みな演奏で彩りとエフェクトを注ぎ、多彩で多重な音楽を創作し、その高度なレベルで持続し続けるテンションは圧巻。いわばパワーアップした新生 Vasen。2007 作。Adventure Music America)}
- *OLOV JOHANSSON:I Lust Och Glod C
(Vasen のニッケルハープ奏者の Olov のヨコ 2 枚目は自身の小さな小屋で録音したもので、極力シンプルにヨコ演奏又は友人演奏家とのデュオで演奏したもの。Olov のニッケルハープ音楽を愛する心が伝わってくる珠玉の 22 曲。2007 作。Drone)
- *PEROLS GUDMUND OLSSON:Fiddler From Rattvik C
(“Historical Recording Of Swedish Folk Music IX”。Rattvik というところのフィドル奏者 {1890~1981 年} の 1970 年代の音源から 38 曲。約半数はダンス曲のホルスカ。スウェーデンのフィドルの精神が脈打つ演奏の数々。P32 のブックレットは英語解説他レトロな風俗写真など。ブックレットの

- ホッキスにサビ有り。2004作。Hurv)
- *SVANEVIT:Gryning C
(Svanevitのデビュー作。身が引き締まるほど気高く清々しいスウェーデンのトラッドだ。英語解説付。2005作。Westpark)
- *KERSTI STABI:Ute Blaser Sommarvind C
(Alice Tegnerという音楽家のカバー集。草原の薫りの北欧トラッド。w. Erik Rydvall [ニッケルホルム], Anders Lofberg [チェロ], Magnus Zetterlund [マントリン、ハーモニカ] 他。全19トラック。2008作。Modesty)
- *NARA:Om C
(Naraは元Gunnfjauns KapellでGotland出身の名女性トラッド・シンガーのGunnel Mauritzsonとストックホルム出身で国民的人気のフィドルの大御所Bjorn Stabiとアコーディオンの大御所Bengan Jansonのトリオ。Gotlandのトラッドほかスウェーデン各地の伝承歌をGunnelはスウェーデン・イッシュ・トラッドの芳香薫る美しい唄を素朴にうたう。絶品。2006作。Caprice)
- *GUNNEL MAURITZSON:Raisu Aut B
(元Gunnfjauns Kapellで現NaraのシンガーのGunnelの隅から隅みまでスウェーデン色の美しいスウェーデンのトラッド・アルバム。w. Roger Tallroch, Hans Kennemark, Rickard Astrom。2003作。Xource)
- *ALE MOLLER:Hasten Och Tranan C
(名盤。w. Lena Willmark, Roger Tallroth, Ellika Frisell, Olle Steinholz。96作。Amigo)
- *MAGNUS STINNERBOM&DANIEL SANDEN-WARG:Harv C
(フィドル・デュオでスタートしたHarvの実質的デビュー作。97作。Amigo)
- *KEBNEKAIJSE:Electric Mountain B
(11曲入編集CD。73/75/76/77/93作。Resource)
- *SALTA:Salta B
(理想の北欧トラッドの一枚。Ulrika嬢の美味シンギングがフィーチャーされたトラッド〜フォーク・ロックはあのFolk&Rackareを彷彿。必聴。97作。Amigo)
- *BASK:Slakt B
(フィドル、サクス、フルートのトリオの確か2枚目。フィドルやフルートと同等にサクスが太い低音でトラッドし、ホルスカを舞う。北欧トラッド臭ふりまくフィドル&フルートと太く色彩感あるサクスが螺旋に絡み、自在にハーモニイズする。不思議な色彩感漂う大人のトラッドである。2002作。Xource)
- *HEDNINGARNA:Kaksi (92作。Silence) C
- *HEDNINGARNA:1989-2003 ¥1990
(Hedningarnaの偉大さが解る全18曲入編集CD。2003作。NorthSide)
- *KENNY HAKANSSON:Hjartats Gatbok B
(「スカンディナビアの哀愁に彩られた元KebnekaiseのK. Hakanssonのソロ。Kebnekaiseの音楽とも、また前作のギター・アルバムとも全く違う哀愁のSSWアルバム。ギターはさずがに鮮やか。2001作。Hawk)
- *CHATEAU NEUF SPELEMANNSLAG A
(副題“New Roots from Norway”。様々な音楽性を持つ連中によって結成された若きトラッド・バンド・バンド。生粋のトラッドからロックやジャズ風まで。96作。トイフFeuer&Eis)

[CD/FINLAND]

- *FRIGG:Frost On Fiddles B
 (Arto Järveläのいとこの Antti Järveläが実質的リーダーのフィンランドのトップ・トラッド・バンド“Frigg”の待望の新作。メンバーは Antti のいとこの Alina {フイドル}&Esko Järvelä {フイドル} に Tero Hyväluoma {フイドル}, Tommi Asplund {フイドル}, Tuomas Logrén {ギター}, Petri Prauda {シタ-ン、マンドリン}, Juho Kivivuri {ベース} の一姫六太郎。彼らはフィドルを中心に結成されたフィンランドの伝統的民俗音楽楽団の音楽をまっすぐに受け継ぎ、ケルト音楽やバルカン音楽やブルーグラスのセンスを取り込んで、親戚グループの JPP よりさらに今日的なセンスでパワーアップした Finnish Music を創作している。フィンランドの伝統色を保持しつつ、音楽が華やいでいる。夏のフォークフェスの香り充満。2017 作。Westpark)
- *MAIJA KAUKANEN: Rai vopyörä B
 (Folk' Avant のカンテレ奏者の Maija Kauhanen のソロを聴いて驚いてしまった。というのも Maija はカンテレ奏者としてのみではなく、トラッド・シンガーとして天才的で、フィンランドの伝承歌に宿る魂のようなものを吸い上げて、消化して、独自のセンスでシンギングするのだから。カンテレの伴奏もちょっと今まで聴いたことがないようなリズム感豊かな、まったく退屈しない鮮やかな演奏で、それも不思議とワクワクさせられる演奏で、ある種妖気さえ漂う彼女のシンギングは、そんな彼女のカンテレの演奏を伴って、彼女のオリジナルなフィニッシュ・トラッドな世界を見事に創作している。圧巻。2017 作。Nordic Notes)
- *ARTO JARVELA & KAIVAMA: Arto Jarvela & Kaivama A
 (Arto {フイドル、ニッケルハルパ} と Kaivama {Sara Pajunen=フイドル&Jonathan Rundman=ギター、マンドリン、ピアノ} との共演は、フィンランド系アメリカ人の Sara が 2010 年にフィンランドにフィドルを学びに訪れたことに始まる。翌年 Arto がアメリカツアーのことで Sara に接触。結果一緒にツアーが実現。本作の録音は米国。フィドル二台、又はフィドルとニッケルハルパをフィーチャーしたサウンドは、屋外で気持ちよくライブ演奏しているような自然な抑揚のある音楽で気持が良い。師と生徒でありながら、音楽がとても調和している。2012 作。Salt Lady Music)
- *KTU: Quiver B
 (BBC で Planet 賞受賞のフィンランドの新進気鋭の音楽家 Kimmo Pohjonen {アコ、ヴォイス} 率いる KTU {発音は K2} の新作。Kimmo に Trey Gunn {ギター}, Pat Mastelotto {リズム装置} のトリオによる捉えどころのない宇宙的変幻自在音楽。フーネリウム気分。2009 作。RockAdillo)
- *LIISA, TELLU, TAITO&TALLARI: Runolaulutanssit C
 (2000 作。Kansanmusiikki)
- *TROKA: Troka (94 作。Olarin) C
- *ZETA B00: Outer Rail 0 B
 (Anna-Mari Kahara {ヴォーカル、アコ他}, Pekka Lehti {ベース}, Jorma Saari {ギター、カヴァキニョ、トロンボーン、ラップスティール、キーボード、パーカッション}, Marko Timonen {ドラムス、パーカッション} の 4 人組バンドが創作する音楽は南国志向の桃源郷音楽。2006 作。Aito)

- *ARTO JARVELA:Far In! B
(フィンランド屈指のフィドル奏者 Arto の 2004 年作。0Art Music)
- *ANNA-KAISA LIEDES:Utua(2004 作。texicalli) B
- *GJALLARHORN:Nordheim A
(ヴァイキング・ロック・バンドの Gjallarhorn の豪放なロック。2005 作。SPV)
- *ALAMAILMAN VASARAT:Kaarmelautakunta B
(北欧感性に裏打ちされたバルカン風ロック。2003 作。Silence)
- *BARKA VALI:Skogsflot B
(ホスニア湾のオランダ島 の 7 人組強力フォーク・ロック・バンド。言葉はスウェーデン語。トラッドとロックが四つに組み、かつ二人の女性ヴォーカルが北欧の神秘性を振りまく、といった正当的北欧フォーク・ロック。2000 作。Barka Vall)

[CD/NORWAY]

- *FOLQUE:Folque C
(ノルウェーのフォーク・ロック・バンドの一枚目。1975/1993 作。Pan)
- *GJERMUND LARSEN TRIO:Salmeklang B
(Gjermund Larsen{フィドル}と Andreas Utne{ピアノ他}と Sondre Meisfjord{ダブルベース}のトリオによる本作は、何よりリーダーの Gjermund Larsen の極北的な感性抜群の北欧フィドルに心奪われる。北欧の伝統的なフィドル・ミュージックを消化し、昇華したようなハイセンスの夢のように美しい北欧フィドルを奏でる。音楽が頭の上で舞う感覚。弓弾く指の先まで、細かな神経が使われていて、細く繊細な音の表現力が抜群な上に、ダンサブルな曲もスリリングで抜群。まさに天才フィドラーだ{風貌も?}。10 曲中後半の 4 曲はトラッド・グループ“Nordic”との共演で、Gjermund のフィドルをフィーチャーしつつ、ノルウェーのトラッドの香りをほのかに発させている。2017 作。Galileo)
- *PER ANDERS BUEN GARNAS:Greinir B
(ノルウェーのハルディングフェーレ奏者の Per Anders Buen Garnås の極北的な感性で貫かれた完全無欠のハルディングフェーレ音楽。本作はノルウェーの伝統的ダンス音楽の Springar と Gangar とを中心にしたノルウェーのダンス音楽を Per Anders はハルディングフェーレの持つ民俗的な響きを強調しながら、まるでメディテーションするかのように自由な音楽を創作する。唯一無比の素晴らしい北欧トラッド・アルバムだ。ある種、北欧の星降る夜空を旅する気分。全 13 トラック。2014 作。Tajlik)
- *SIGRID MOLDESTAD:Sandkorn B
(ノルウェーを代表する女性フォーク・シンガーの Sigrid の本作はスコットランドの Robert Burns 作の名曲 3 曲と伝統歌 2 曲と残りは Sigrid の自作曲という曲目で、自身が奏でるハルディングフェーレ等がノルウェーのトラッドの薫りを撒き散らす中、Sigrid の軽やかな節回しの唄は北欧風味を薫らせ、詩情豊かで美しい。2010 作。Heilo)

- *TRITULEN: Tritulén B
 (Tritulén は Ebba Jacobsson をヴォーカルに据えた女性 2 名と男性 1 名のトラッド・グループ。ノルウェー西海岸の伝統曲を中心にした選曲で、Ebba のシンギングもフィドル、ギター、アコの演奏も極北トラッドの薫りを発するが、ストイックな極北性ではなく、穏やかでほんのりと牧歌的な極北性。Ebba のリルティングも新緑の森の中を口ずさみ散歩するような爽快気分のリルティック。2012 作。Etnisk Musikkklubb)
- *JENNY LYSANDER: Northern Folk B
 (理想的なブリティッシュ・フォークスタイルの女性 SSW アルバム。レコーディングは美しい自然環境にある田舎のスタジオ。これまでに「Nic Drake 風」と持ち上げる SSW アルバムが何枚かあったが、本作は「Nic Drake 風」なアルバムの中では、清々しく健やかな「Nic Drake 風」なアルバム。Jenny の夢は空想roman。新鮮な空気を運び込む繊細極まりないアコースティック・ギターの演奏と共に、優しく空想romanの世界へと誘われる。歌詞は英語。2015 作。Beating Drum)
- *TORE BRUVOLL・JON ANDERS: Halvorsen Nattsang B
 (ノルウェーの Telemark という地方のトラッド集だが、Jon のシンギングは清流の清々しさ。終始神経の行き届いた感性鋭いギターで付き合う Tore のギターが全体の空気を清らかに引き締めている。身震いの逸品。2004 作。Grappa)
- *FRA DE MOLLSTEMTE SKOGER: Sa Lengi Du Kjaem Att B
 (Fra De Mollstemte の一枚目。北欧トラッドではない。むしろ一輪の花的女性がヴォーカルをフィーチャーした北欧のフォーク・ロック・バンドの線上の北欧アコースティック・フォークアルバム。アコースティックだが、ギターやチェロやフィドルの演奏は深く北欧サウンドを奏で出していて、北欧的情緒を発している。彼らが生み出す世界は、70 年代ブリティッシュ・フォークの夢心地な世界と通じる。ただ、壊れそうに美しい高音の女性がヴォーカルは、極めて北欧的だが。2012 作。Ta:lik)
- *BLATT GADN: Blått Gådn C
 (Blått Gådn はノルウェー南部のヴァルデリス地方の三人組 = Ingvild Lie {ヴォーカル、ランゲレイク}, Harald Høyvik {ギター、マンドリン}, Lars Skattebu {ハルモニウム} = のトラッド・グループ。民俗楽器のランゲレイクを爪弾きうたう Ingvild のシンギングは、ある種マウンテン・ダールマーをかき鳴らしたうたうアパラチア民謡を連想させるが、当然ながら、ノルウェー流のトラッド・シンギングはノルウェー民謡風だし、ダールマー風の音色はノルウェーの土の香りを放っている。二人の男性ミュージシャンは、Ingvild の引き立て役。一歩下がって、引き立て役に徹しているのが功を奏している。Ingvild の自然な節回しと音楽全体を覆う穏やかさが心と和む。2013 作。Tal:ik)
- *SUDAN DUDAN: Inntil I Dag C
 (Sudan Dudan は Marit Karlberg {ヴォーカル、ランゲレイク} と Anders E. Roine {ヴォーカル、ギター、口琴} の男女の二人組。彼らの音楽は 11 曲中 8 曲がノルウェーの伝統歌。しかし彼らのトラッドは彼らのフィルターを通して創作された魅力的な北欧印トラッド。リード・ヴォーカルの Marit のシンギングはきっちりとノルウェーのトラッド・シンギングを身につけた上で、様々な伝統歌に身を寄せてうたう。Anders がつま弾く典雅なギターと Marit

が奏でる素朴で土俗的なノルウェーの民俗楽器のランゲレイクの伴奏が、Marit のシンギングをある種の緊張感の中で、引き立てている。2013 作。Ta:lik)

*TRON STEFFEN WESTBERG:Gammelpols C

(スウェーデンとの国境に接するノルウェーのレーロス地方のフィドル・ミュージック。レーロスのブレンゲン出身の Tron は「1880 年～1890 年代に生まれたフィドラー達の古い録音を聴いたとき、彼らのフィドル演奏法は、“ダンスのための演奏”だと感じた」と、ライナーに書いている。Tron の集中力ある演奏は、間の中を一筋の音が舞いながら美しい白線を描くかのような。究極的に美しい北欧フィドル・ミュージック。ジャケットもブックレットもモノクロの世界。全 26 トラック。2013 作。Ta:lik)

*KELPIE:Live B

(ケルティックな香りを添え、ノルウェーの神秘的妖精的世界を唄と耳に優しく新鮮なアコースティック・サウンドで創作する Kerstin Blodig{、ギター、バウロン、ブズーキ}&Ian Melrose{ウオーカル、ギター、羊飼いの柳皮の笛、ホイッスル}の Kelpie の本作は、スピンズの Kelpie サウンド。このスピンの Kerstin の妖精ウオーカルは気負いがなく、森の中をそよぐ風のように自然でいい。2010 作。Westpark)

*RYDVALL MJELVA:Isbrytaren C

(数曲聴くなり、背筋がゾクゾクとしてしまった。スウェーデンのニッケルハルバとノルウェーのハルディングフェールの音色は似通ってると思っただけだが、その似た特徴と双方が国民的伝統楽器であることに着目し、スウェーデンとノルウェーの二人の若者奏者が共演したアルバムが本作。若者というのは忘れた方がいい。彼らの響き合う音楽を聴けば、その北欧音楽の美しさに魔法をかけられてしまうだろうから。素晴らしい北欧の音楽と出逢えた。2013 作。Heilo)

*ELI STORBEBKEN:Songen Til Floyta B

(本作は Mari Boine のプロデューサーの Georg Buljo の勧めで、Egil Storbekken 生誕 100 周年記念に制作された Egil 作曲集。11 曲中、縦笛をフィーチャーしたインスト曲の 2 曲以外は全曲唄もので、Egil の娘 Eli の魅惑のシンギングとノルウェーのトラッドをベースにした多彩な音楽で、Egil の広く北欧的に雄大な音楽の世界へと誘う。ノルウェーの自然を愛した父親の音楽の心が確かに娘に受け継がれている。2012 作。Echofisk)

*KIM ANDRE RYSSTAD:Vegen B

(若きノルウェーのフォーク/トラッド・シンガーの K. Andre の本作は、伝統歌や中世パラッド等を演唱したものだが、Kim の音楽性は北欧トラッドのスタイルというより、ブリティッシュ・フォーク/トラッドのスタイル寄り。4 曲目の“Heming”はノルウェーのフォーク・ロック・バンドの Folque も演唱していた伝統歌。2011 作。Grappa)

*CAMILLA GRANLIEN & KRISTIN SEVALDSEN:Aftenstemning C

(北欧屈指のトラッド・シンガーの Camilla の本作は女性サクソ奏者兼ウオーカルの Kristin とのコラボ。Bjornstjerne Bjornson{1832-1910}の詩に Camilla がトラッド調の曲を付け、Camilla のシンギングに Kristin 他のジャズ系のゲスト・ミュージシャンが即興的に伴奏を付けた即興性の高いシンギング・アルバム。ノルウェー独特な感覚のジャズ仕立てのノルウェー・トラッドだ。2011 作。Ta:lik)

- *BUKKENE BRUSE: Bukkene Bruse B
(Arve Moen Bergset, Annbjorg Lien, Steinar Ofsdal の Bukkene Bruce のデビュー作。1993 作。Grappa)
- *ANNBJORG LIEN・BJORN OLE RASCH: Come Home B
(2009 作。Grappa)
- *UNNI LOVLID: Rite (2009 作。Grappa) B
- *KARI BREMNES: Svarta Bjorn B
(1998 作。Kirkelig Kulturverksted)
- *WIZARD WOMEN OF THE NORTH a
(ノルウェーのトラッド・シンガーとミュージシャン{Tone Hulbaekmo, Annbjorg Lien, Sinikka Langeland, Aurola Borealis, Asne Sunniva Soreide, Kirsten Braten Berg, etc}を中心にフィンランドから Tallari {1 曲} と Tellu {2 曲} そしてスウェーデンから Susanne Rosenberg {2 曲} を加えた編集 CD。全 19 トラック。北欧トラッド・シンキングの粋が味わえる。1998 作。Heilo)
- *EPLEMOYA SONGLAG: Eplemoya Songlag B
(女性北欧トラッド・シンキング特有の毅然とした美しさを保持しつつ新鮮な感覚が脈打つ女性ヴォーカルトリオの鮮烈なデビュー作。リードヴォーカルを取る Liv Uivik の伝統的シンキングを Wenche Losnegard と Anja Eline Skybakmoen の二人がリズム楽器や伴奏楽器や喉唄の効果音で強力にバックアップし、Liv のシンキングは天空をかけたか、妖気を帯びたりする。北欧ならではの素晴らしきヴォーカル・ミュージックの世界だ。2010 作。NORCD)
- *FRIBO: The Ha' O' Habrahellia ¥800
(ノルウェー人シンガーの Anne Sofie Linge にスコットランド出身のハルディングフェール奏者でヴォーカルの Sarah-Jane Summers とイングランド出身の口琴、ギター、マンドーラ奏者でヴォーカルの Ewan MacPherson のトリオ。Anne の軽やかで澄んだスクワットを含めたシンキングはノルウェーの女性トラッド・シンキングの理想の風合い。2006 作。Fellside)
- *OLD TIME DANCE MUSIC ¥1980
(副題“Masterpieces from Norway”。ワルツ、ライヴランド、マスルカ、ホルカ等の“Old Time Dance Music”の演奏集。全 23 トラック。演奏は Bukkene Bruse 他。ブックレットには「百年の歴史を持つホップミュージック〜民族音楽」について日本語でも書かれている。97 作。Grappa)
- *TARJEI ROMTVEIT: Kvenneslatten ¥1980
(1925 年生まれの名ハルディングフェール奏者の Tarjei の名演奏集。発売時 70 歳のいあやはや年齢を感じさせない華麗な演奏だ。全 41 トラック。95 作。Buen)
- *STORSKOGEN SPELLMANNBAND: Villspika B
(フィドル、ギター、チューバ、サクソ、クラリネット、ベース、パーカッション他のユニークな楽器編成の 6 人組トラッド・バンド。2000 作。Grappa)
- *BLAMANN BLAMANN: Blamann Blamann B
(「フェアポート・タイフのフォーク・ロック・バンド」との宣伝文句だが、きちりルウェーのトラッドがベースになった上で、トラッドからフォーク・ロックまで展開する。2001 作。Grappa)
- *LARS UNDERDAL: Gullfakse B

(Hardingfele 奏者によるダンサブルな音楽。Telemark 地方の音楽。
98 作。NOR-CD)

- *CHATEAU NEUF SPELEMANNSLAG A
(副題“New Roots from Norway”。様々な音楽性を持つ連中によって
結成された若きトラッド・バンド・バンド。生粋のトラッドからロックやジャズ
風まで。96 作。ドイツ Feuer&Eis)

[CD/LATVIA]

- *AUJI:Aulos... B
(バグパイプと太鼓のグループだが、フルタニのそのタイプのグループとは
全く違う。他にギガという大きなフイドルやダブルリードの笛にヴォーカ
も入った音楽は各楽器の伝統色豊かなアンサンブルが見事で、勇壮な音
楽を華麗にダイナミックに創作している。2007 作。Lauska)

[CD/ESTONIA]

- *TRAD·ATTACK!:Kullakarva B
(前作“Ah!”ショックがさめやらぬうちに早くも新譜。メンバーは
前作と同じく Sandra Sillamaa [ヴォーカル、エストニア・バグパイプ、口琴、
ホイッスル他]、Jalmar Vabarna [12 弦ギター、ヴォーカル]、Tõnu Tubli [ドラム
ス、ヴォーカル、グロックステール]の三名。快進撃は本作でも。エストニアの
古謡や民謡などエストニア人の心の唄を彼ら独自のトラッドや
ロックを超えた表現方法で、ラディカルに演奏し、シンギングす
る。Sandra のシンギングも創作されたサウンドも、魂の響きその
ものというか、エストニアに生きた人の霊がのり移ったかの
よう。今日のトラッド〜ワールド・ミュージック・シーンで、彼ら
は別格。シーンを牽引する実力派だ。2017 作。Trad·attack Music)
- *TRAD·ATTACK!:"Ah!" B
(メンバーの Sandra Sillamaa [ヴォーカル、エストニア・バグパイプ、口琴、
サクソ、他]、Jalmar Vabarna [12 弦ギター、ヴォーカル]、Tõnu Tubli [ドラム
ス、ヴォーカル]の三名全員が 2014 年にバンドを結成する以前、15 年以
上エストニアの音楽シーンで活発な活動を行っていたというエ
ストニアのトラッド・ロック・バンドの Trad·Attack の本作は、
2016 年“Best Band”及び“Album & Ethno/Folk Album of the
year”に輝いている。事実、本作はポルトガルの Warsaw Village
Band やスウェーデンの Garmarna やスウェーデン&フィンランド
混成の Hedningarna などと肩を並べる彼ら独自の先鋭的エスト
ニアン・トラッドを果敢に体現していて、圧倒される。驚くこと
ばかりだが、やはり何より、歌姫 Sandra の老婆の語りや呪文のよ
うにも聞こえるシンギングの奥深い魅力と Sandra が演奏するバ
グパイプ、口琴、サクソなどのまるで異世界から響きとそれに
絡む卓越した 12 弦ギターと鋭いドラムスの不思議な一体感は、音
楽的に凄い魅力。欧州発のトラッドで、久しぶりにメッチャ熱く
なってしまった。2016 作。Nordic Notes)
- *MAARJA NUUT:Une Meeles B
(Maarja 嬢はエストニアの神話や伝説そして 20 世紀初めのフィー
ルドレコーディングなどを研究し、唯一無比の優れたエストニア

のトラッドを創作する。彼女のシンギングとフィドルの演奏は伝統に強く根ざしながらも、いにしえのエストニアに誘われるような夢幻性を帯びていて、先鋭性と孤高感が感じられるもの。全てが秀逸。2016 作。Maarja Nuut)

*SOFIA JOONS・EMMA HARDELIN・MEELIKA HAINSOO

:Strand...Ran

B

(三人の歌姫によるスウェーデンの最高レベルの女性トラッド・シンギングを聴く感触のエストニア西海岸の伝統歌集。Sofia はエストニア系スウェーデン人、Emma は Triakel、Garmarna のヴァーガルでスウェーデン人そして Meelika はフォーク・ロック・バンドの Vagilased のヴァーガルでエストニア人。唄は弓奏ハープ、フィドル、チターなど素朴な伴奏或いは無伴奏でうたわれていて、歌姫それぞれがまっすぐな孤高のシンギングで魅了する。2001 作。Johanson&Vennad)

*KART JOHANSON: Seitse Une Nagu

B

(ストーリーテラーで女優の Kart が 2000 年以上の歴史を持つと言われているルン・ソングをうたったアルバム。Kart の唄はハミングのようだったり意味不明な言葉遊びや呪文のような唄だったり、賛美歌のようだったり、不思議不思議。2004 作。Arm Music)

*SILD: Tro

B

(エストニア人でヴァーガルと Hiiu-Kandleid というエストニアのフィドル系楽器奏者の Silje Ilves とギター&ハモンド・オルガンの Martin Leamon のウェルズで活動する二人組の Sild の本作は 2 枚目。ウェルズとエストニアの伝統歌だが、Silje の野趣な味わいを秘めた軽快で美しいシンギングとスクワットは絶品だし、彼女が奏でる民俗性高いやはり野趣な味わいのエストニアの伝統楽器の Hiiu-Kandleid は荒野の原へと誘う。野性と夢性が宿る唄を気高くうたいこなしている。2008 作。Fflach)

[CD+DVD/BELGIUM, FLANDERS] PAL Region 2

※PAL 方式再生可能 DVDプレーヤー/パソコンでのみ再生可能

*RUM: 1972~1978

¥2980

(ベルギーのトラッド・グループ Rum の 72 年 74 年 75 年 78 年発売の 4 枚のアルバム収録の 2 枚組 CD とライヴ DVD のセット。男性 3 人組 [4 枚目では紅一点の女性ヴァーガル Vera Coomans が加入] の Rum は独自のヨーロッパ的格調あるヴァーガルとトラッド・サウンドを生み出している。DVD は当時の貴重なライヴ映像集でアコーディオンから民族楽器の伴奏の彼ららしい格調高く典雅なトラッドそしてルネサンス音楽風味のまで彼等の演唱が楽しめる。72/74/75/78/2005 作。Universal)

[CD/BELGIUM, FLANDERS]

*TRIO DHOORE: Madus Operandi

B

(Koen [アコースティック&エレキ・ハーモニカ・ギター], Hartwin [アコ、ホイッスル、バグパイプ] & Ward Dhoore [ギター、マンドリン] の三兄弟による心うきうきなデビュー作。久しぶりに聞く Blowzabella スタイルの音楽。三兄弟の音楽もハーモニカ・ギター、アコ、バグパイプを要にした楽器編成と中央フランスのダンス音楽をベースにした音楽性は、Blowzabella と重なる。三兄弟は小編成を活かして、リズムが自由に遊び感覚とおしゃれっぽさがある。聞き流していて、気持ちが良い。2013 作。Appel)

- *SURPLUZ:Dat Ik Zingen Moer! B
 (ベルギーのトラッド・バンドの Surpluz の新作。メンバーは新加入の Steven Goossens {アコ} に Jeroen Knapen {ギター、ヴォーカル}、Bart Knapen {クラリネット、ヴォーカル他}、Pieterjan Van Kerchhoven {バグパイプ、サクソ、ヴォーカル} の四人編成のバンドに、さらに Jonas Cole と Hanneke Oosterlijck の男女のシンガーが加わって、パワーアップ。全曲伝統歌で、二人のシンガーの悲喜こもごもとしたソロとデュエットは心に響き。心躍る。2016 作。Appel)
- *SURPLUZ:Laat Ons Drinken! B
 (Surpluz はベルギーの 4 人組トラッド・バンド。メンバーは Elke De Meester {ヴォーカル、アコ}、Pieterjan Van Kerchhoven {バグパイプ、サクソ、ヴォーカル}、Jeroen Knapen {ギター、ヴォーカル}、Bart Knapen {クラリネット、ヴォーカル}。メンバー全員がヴォーカルも達者で、意気揚々としたシンギングとたっぷり躍動感のあるダンス音楽は、一気に気分を高揚させる。ダンス気分も最高。2012 作。Wild Boar Music)
- *NOVAR:Emelald B
 (Aurelian Claranbaux {アコ}、Thierry Nouat {ハーモニカ、ギター}、Toon Van Mierlo {バグパイプ、サクソ、アコ}、Jeroen Geerinck {キーボード、マンドリン} の四人組が奏で上げる音楽の何と粋でかっこよくて心地よいこと！全曲 Toon Van Mierlo の作曲で、アコ、バグパイプ、ハーモニカ、ギターが織りなす音楽は、いわば Blowzabella 風だが、「皆が好きな音を奏でながら合わせたらこんな音楽になった」という印象の自然体の清々しくって気持ちのいい音楽。様々な涼風が感じられる音楽。2016 作。Appel)
- *AURELIA:La Creation Du Monde B
 (夢幻的ヴォーカル・ミュージックの可能性を追い求める女性シンガーの Aurelia {Dorzee} の本作は、不思議な夢世界音楽。その夢世界は西アフリカ音楽的夢世界。Aurelia の空かけるフィドル演奏とギター名手、Tom Theuns の微細で多彩な乾いたギター演奏、そしてパーカッション奏者の Serigne Cm Gueye の多彩なリズム演奏が不思議な夢世界音楽を創る。感性優先の音楽だが、魂を揺すられるような根源的な何かを感じられる音楽でもある。2012 作。Home)
- *FARAN FLAD:Maiden Voyage B
 (デビュー作。2010 作。Wild Boar Music)
- *NARAGONIA:Janneke Tarzan B
 (Pascal と Toon の二人組時代の Naragonia の 2 枚目。アコと吹奏楽器の組合せでリズムカに編まれた音楽は詩情豊かでダンスブル。最愛聴盤。2007 作。Appel)
- *BALLADEUS:Snikheet B
 (男性五人組トラッド・グループ "Balladeus" の本作は伝統曲と主にヴォーカルの Rufijn De Decker の作詞作曲のバラッドを時代背景や音楽性に応じた様々なスタイルのフォーク・ミュージックで演唱したアルバム。楽器編成はハーモニカ、ギター、アコ、クラリネット、バグパイプ、ギター、チェロ、ホイッスル、コントラバス、タンバリンなど。2009 作。Wild Boar Music)
- *BRADYAGA:Promesses B
 (Bradyaga は Naira Mnoian と Lola Waters の二人の個性的な女性が

ヴォーカルをフィーチャーした6人組。二人のシンガー-醸す雰囲気は独特。大人の女性の落ち着いたムードがシンクを含めて魅力的で全編独特なムードの中で展開する。音楽的にはジプシー&クラマ的なものがベースで東欧っぽさやフレンチ・トラッドっぽさも。一度この魔力に取りつかれると病み付き。2005作。Home)

*WOUTER VANDENABEELE: Chansons Sans Paroles B
(Ambroziijn のヴァイオリン奏者で作曲家 W. Vandenabeele の唄なしの唄。演奏のみでうたわれた物語。Soetkin Baptist の妖精スクットはあるが...。陰影に富み湧き出す感情を押し殺したような泣きのヴァイオリンは叙情的かつ詩的。どこか北歐的でメロコリックな音楽。2007作。Home)

*AMBROZIJN: 10 ¥1500
(フランス屈指のトラッド・バンドの結成10周年記念ライブ。Ambroziijn {Tom Theuns, Wouter Vandenabeele, Wim Claeys} がベルギーとフランスから招待したゲストシンガーは Gabriel Yacoub, Vera Coomans, Soetkin Collier, Sylvie Berger, Ludo Vandeau。フロントとその周辺の音楽を賛美するような音楽構成は祝祭ムードを放つ音楽として身を結んでいる。2007作。Home)

*LAIS: Dorothea D
(ご存知人気の女性ヴォーカルトリオの2001年作。ヴォーナス曲“Le Grant Vent” {アカペラ・ヴァージョン} 付。2001作。Virgin)

*LAIS: Victime D
(ご存知人気の女性ヴォーカルトリオの2004年作。CCCD {コピー禁止 CD}。Virgin)

[DVD/HOLLAND] PAL Region 2

※PAL方式再生可能 DVDプレーヤー/パソコンで再生可能

*YGDRASSIL: Live At The Folkwoods Festival 2006 ¥2980
(Linda Nijland&Annemarieke の女性シンガーの二人にギター、アコ他の Bert Ridderbos の三人組による17曲ライブ。CD“Easy Sunrise”そのままのブリティッシュ・フォーク的世界。“Cruel Sister”, “The North Star Grassman And The Ravens”, “Motorcycle Mama” {Neil Young 作} 他。2007作。Teal Harm)

*FLAIRCK&CORPUS: Circus Hieronymus Bosch ¥2980
(2002作。Alpha Centauri Entertainment)

[CD/HOLLAND]

*CHIMERA: Gestolen Lente B
(1981年と1982年にStoofからアルバムを発表して、当時ユーロ・トラッド・ファンに驚きとともに愛好された Chimera の新作。新生 Chimera はリード・ヴォーカルの Marry Verkade {ヴォーカル、フルト} と Bas Verkade {ギター、ベース、ヴォーカル} の夫妻と息子の Marijn Verkade {ベース、ベース、ヴォーカル} のトリオ編成。Chimera のアコースティック版というか、かつての Chimera 独特な幽玄な空気感や美意識を保持しつつ、穏やかなユーロ・トラッドに仕上がっていて、ほんのりと心地よい。音楽の奥には彼ら独特な美意識がキラリ光っている。2016作。Pan)

*YGDRASSIL:Easy Sunrise ¥1500

(女性二人のヴァン・フォーカ・デュエットをフィーチャーしギター、ベース等の Bert Ridderbos が伴奏の三人組。全て英語で一言で言えばブリティッシュ・フォーク・タイプなのだが、二人のヴァン・フォーカとデュエットから生まれる世界は本作の最後を飾る曲 Sandy Denny 作の“The North Star Grassman And The Ravens”的で、陰影の中にかすかな光りが感じられる独特な世界。全 14 曲。2005 作。Rounder Europe)

*TJANE:Mark C

(澄んだ Silvie のシンキングに清々しいフォーク・ロック・サウンド。全曲トラット [又はトラットの歌詞に曲を付けたもの] だが、歌詞の内容も純朴なものばかりで気分はすっかり「春」の気分。健やかなフォーク・ロックだ。2005 作。Frea)

*GERARD VAN MAASAKKERS

:Komt Er Mer In/Vur De Wind/Onderwege D

(オランダのトラット / フォーク・シンガー Gerard の 1 枚目～3 枚目が 2 枚組み四つ折りジャケットにて復刻。この時代彼のアルバムは上品なヨーロッパ情緒漂うアコースティックなサウンドと彼の愁いのある澄んだ唄に心洗われる。宝物。78/80/82/2003 作。Stoof/Munich)

[CD/GERMANY]

*OUGENWEIDE:Ungezwungen A

(77 年作。P24 のブックレット付 77/2007 作。Bear Family)

*OUGENWEIDE:Fryheit/Ousflug A

(78 年作“Fryheit”と 79 年作“Ousflug”の“2 on 1”。P44 のブックレット付。78/79/2007 作。Bear Family)

*OUGENWEIDE:Ja-Markt/Noch Aber Ist April A

(80 年作“Ja-Markt”と 81 年作“Noch Aber Ist April”の“2 on 1”。P44 のブックレット付。80/81/2007 作。Bear Family)

[CD+DVD/BRETAGNE] PAL Region 2

※PAL 方式再生可能 DVD プレーヤー/パソコンでのみ再生可能

*DAN AR BRAZ:Frontieres De Sel ¥2980

(CD と DVD セットのブック型特殊豪華パッケージ。CD は 2005 年のライヴ 5 曲に 2001 年作の“La Memoire Des Volets Blancs”から 3 曲そして 2003 年作の“A Toi Et Ceux”から 2 曲の Dan のエレキギターが輝く彼らしい美しいフォーク・ロックが全 10 曲。155 分。2006 作。Pathe)

[DVD/BRETAGNE] PAL Region 2

※PAL 方式再生可能 DVD プレーヤー/パソコンでのみ再生可能

*ALAN STIVELL:Alan Stivell ¥2980

(豪華な内容。フィルムとコンサート 2 本立てで、“フィルム”は A. Stivell のブレトン音楽からアイルランドの旅と共演 [Matt Molloy, Dubliners, Paddy Moloney, Liam O'Flynn, Brenda Mayock それにロック・バンドの Simple Minds 等との共演] のドキュメンタリーで 47 分。“コンサート”は 2000 年の野外フェスティバルのライヴ。こちらは 50 分。2000 作。Arte Video)

[CD/FRANCE]

- *NOLWENN ARZEL:La Harpe De Bretagne - Strewiñ C
(両親がブルターニュの出身で、ご本人はパリ生まれのケルティック・ハーブ奏者の Nolwenn 嬢のソロ。彼女にとってブルターニュの伝統音楽は夢の音楽。彼女はブルターニュの伝統音楽の個性的な民俗性を保持しながら、独自の夢感覚の色を輝かせて、幽艶で優艶なハーブ・ミュージックを創作する。2014 作。Coop Breizh)
- *BROTTO LOPEZ SEXTET:La Ronda Dels Viatges B
(Rosina de Peira e Martina の時代から時を経て、若々しいオクシタンのトラッド・バンドの登場。ヴォーカは Guillaume Lopez と Lolita Delmonteil-Ayral の男女の二人。唄はこの二人が掛け合うスタイル。双方とも南欧的なトラッドの香り立つシンギングだ。三曲目の“Quando io eri hilha a marider”は Rosina de Peira e Martina もうたっていたが、伝統性の内で、新たな命を吹き込んでいる。世界クラス。2014 作。Camom)
- *ALAN STIVELL:Au-Dela Des Mots B
(英題“Beyond Words”。w. Ronan Le Bars {イリアン・バードス}, David Hopkins {ハートカッション}。2002 作。Keltia III)
- *ALAN STIVELL:Emerald B
(2009 作。Keltia III)
- *HIKS:Operation Malicorne B
(Hiks はブルターニュの五人組ロック・バンド。しかし実態は Gabriel Yacoub with Hiks。この組み合わせはもの凄い。トラッド・シンガーの Gabriel の魂とロック・バンドの Hiks の魂との魂と魂のぶつかり合いから生まれる音楽の底知れぬパワーは、本当にもの凄い。2014 作。Aztec Musique)
- *CECILE CORBEL:La Fiancée D
(Cecile Corbel の「花嫁」と題された五枚目。2014 年の秋にフランスの Polydor からのリリース。弦楽四重奏を伴った本作は Keltia Musique の“Songbook”路線とは一線を画す、例えば、カナダのリーナ・マッケニット路線の「ケルト」を増幅させたファンタジック・ミュージック。Cecile は元々そうした要素を多分に持っていたが、ここに来て、「伝統的ケルト」のしがらみを取り去って、Cecile が夢描く「ファンタジック・ワールド」を存分に音楽化したという印象。音楽の内容は「情熱的な愛の物語」らしい。2014 作。Polydor)
- *CECILE CORBEL:Songbook Vol. 2 A
(デビュー作で創作したオリジナルなブルターニュ発ケルト音楽は本作において、ひとつの絢爛な完成を見せている。音楽はきらびやかな光沢を放ち、セシルの小悪魔的ヴォーカルはさらに魅力的で、セシルのハーブは様々な表情で躍動しながら光を放ち流れる。シンガーとして、ハーブ奏者として、世界レベルのケルト風味音楽を突らせている。Loreena McKennitt ファン必殺。2008 作。Keltia Musique)
- *SOLDAT LOUIS:Kingdom Tavern B
(ブルターニュのケルティック・ロッカー、Soldat Louis {ヴォーカル、エレキ&アコースティック・ギター、バンドョー} の本作は、まるでブルターニュ流米国西海岸ロック。ケルト圏のロック・バンドの中でも、Soldat Louis と彼のバンドは若々しさとガッツで

- 群を抜いている。ヤッホーの一枚。2013 作。Coop Breizh)
- *DOMINIG BOUCHAUD: Vibrations Harpe Celtique B
(ブルターニュのハープの第一人者のブルターニュのトラッドを中心にしたケルティック・ハープ集。全 17トラック。Keltia Musique)
- *DOMINIG BOUCHAUD: L'anore d'argent B
(ブルターニュのハープの名手が全霊を傾けた珠玉のブレトン・ハープ音楽。古来から伝わるブルターニュのハープ音楽の優美さや気高さがじわりじわりと身に沁みてくる。サント・ハープ担当でシガの Ann Auffret の 3 曲のシギングの見事さは言葉で言い表せぬほど。英語詳細曲目解説付。全ハープ愛好家必聴。全 20 曲。2002 作。Keltia Musique)
- *ANNE DE BRETAGNE C
(ハード・カバー装丁の 2 枚組。副題“Le Rock Opera d'Alan Simon”。全曲 Alan Simon 作詩作曲の中世ブルターニュの歴史絵巻物語。参加ミュージシャンが豪華。Cecile Corbel, Fairport Convention, Chris Leslie, Tri Yann, Didier Squiban, Pat O' May 等等。全 30 曲。色鮮やかに描かれた P48 の歴史絵巻ブックレット付。2009 作。Babaika)
- *EVELYNE BELINE GERARDON: La Fontaine Troublee C
(元 La Bamboche の Evelyne の CD。本作はむしろ同時代を生きてきた Malicorne の核の音楽を志向する真摯なフレンチ・トラッド・アルバム。Evelyne のシギングは伝統歌本来のシギング・スタイルに身を預けたスタイルで古風で優雅。w. Jean Blanchard [元 La Bamboche], Soig Siberil, Gilles Chabenat, Jeremie Mignotte, etc. 全 18 曲。2011 作。Compagnie Beline)
- *MUSIQUES DE BRETAGNE B
(副題“New Recording Of The Great Airs Of Brittany”。Cecil Corbel, Red Cardell, Gwalarn, Louis Capart, Gilles Servat, Anne Auffret, Pat O' May 等ブルターニュのトラッド・ミュージシャン達の音源から全 17 トラック。2011 作。Keltia Musique)
- *MALICORNE: Concert Exceptionnel Aux Francofolies De La Rochelle B
(Gabriel & Marie Yacoub, Hughes De Courson, Laurent Vercambre, Oliver Kowalski のラインナップの Malicorne の 2010 年のライブ盤。Gabriel & Marie Yacoub がヴォーカルに入ると気高く優美な Malicorne サウンドに変幻。圧巻！2010 作。Sony Music)
- *GABRIEL YACOUB: Bel (1990 年作。Boucherie) B
- *GABRIEL YACOUB: De La Nature Des Choses B
(美意識に裏打ちされたある種妖氣的詩的世界。2008 作。Roseau)
- *LA BAMBOCHE: La Saison Des Amours (1978 作。Spalax Music) C
- *SOLDAT LOUIS: Happy... Bordee 20 Ans C
(結成 20 周年記念ライブを収録した二枚組盤。ヴォーカル&ギターの Soldat Louis 名義のアルバムだが、実質的に 7 人編成ケルティック・ロック・バンドとして、いわばブルターニュの Runrig のような存在で、ブルターニュ版 Runrig 的音楽を勇猛果敢に創作する。孤高のケルティック・ロック。2009 作。Coop Breizh)
- *LOUISE EBREL: Ma Zad Ma Mamm B
(「何だばあさんか」と馬鹿には出来ぬ。Louise ばあさんのうたうブルターニュの伝統歌の数々は血統書付のブルターニュ・トラッド。その濃度はか

なり濃い。そんなブルネユ色濃い伝統歌を毅然とシンキングし、軽妙にリリックしたりもする。ブレント・トラット・シンキングの真髓。2010 作。

Keltia Musique)

*FLORENCE PAVIE, YANN-FANCH KEMENER, ALDO RIPOCHE

:Dialogues B

(ブレント・トラット・シンキングの最高峰の Yann がチェロ奏者 Aldo とピアノ奏者の Florence による厳かな空気の音楽の中でブレント・トラット・シンキングを極めた Yann の円熟したシンキングが素晴らしい実質的に Yann のソロアルバム。極上のブレント・トラット・シンキング・アルバム。2006 年録音。Buda Musique)

*MICHEL TONNERRE:Quinze Marins B

(海の男の荒くれフォーク・ロック。酒でつぶれた？トスの利いたヴォーカルと共に海辺の安酒場へ。海の男達の自慢話とロマの世界。バックが充実してるのにバック・ミュージシャンに関する何のクレジットもなし。2007 作。

Keltia Musique)

*MARIE DE MALICORNE C

(Malicorne のヴォーカルで Gabriel の奥方 Marie のベスト盤。収録曲は 1975 年～2005 年。ボーナス曲 1 曲を含む 15 曲。Malicorne での Marie の存在の大きさがわかる。2005 作。Roseau)

*JEAN-MICHEL VEILLON・YVON RIOU

:Pont Gwenn Ha Pont Stang (95 作。Gwerz) B

*JOAN FRANCES TISNER:12 Receptas De J. A. Lespatlut B

(オクシタニアのヴォーケラン・トラット・シンキング-兼フォーク研究家の 2 枚目。オクシタニアのトラット・シンキング & アパールの特異さ=魅力を奔放な音作りで浮き彫りにする。音作りは斬新ながら、ちゃんとオクシタン特有のエスニックな「音」が散りばめられている。P28 のブックレット付。2004 作。Menestres Gascons)

*ALAN STIVELL:Telenn Geltiel~Harpe Celtique C

(64 作。Dreyfus)

*ALAN STIVELL:Trema'n Inis (76 作。Dreyfus) C

*ALAN STIVELL:Terre Des Vivants (81 作。Dreyfus) C

*ALAN STIVELL:Harpes Du Nouvel Age (87 作。Dreyfus) C

*ALAN STIVELL:Journee A La Maison (89 作。Dreyfus) C

*ALAN STIVELL:Brian Boru (95 作。Dreyfus) C

*ALAN STIVELL:1 Douar (98 作。Dreyfus) C

*ALAN STIVELL:Back To Breizh (99 作。Dreyfus) C

*ROSINA DE PEIRA:Sul viu - Gospel d'Oc a

(オクシタニアのトラット・シンキング-の Rosina の 2003 年作。教会でのライブで全くの無伴奏。オク語による Rosina 独特な節回しは豪快で繊細で優雅で神聖。2003 作。Rosina de Peira)

*MARC ROBINE:Dulcimer a

(フランスのマウンテン・タルヌマ-奏者でシンキング-の編集 CD。全 18 曲。録音は 1977～99 年。Buda)

*BARRIO CHINO:Mediterra Nostra B

(マルセイユの地中海バンド。アラブ=地中海音楽からキューバ音楽まで、それぞれの民俗音楽的要素をより濃厚に強調したエキゾチックなバンド。2001 作。Tinder)

- *GARGOUILLES: Sur Le Bord Du Cote B
 (ブルターニュの男性4人組。Gabriel Yacoubスタイルの Christian Gattepaille のヴォーカルをフィーチャーしたアカペラからロックそしてクリスマス〜ジャズ風まで。ゲスト: Gabriel Yacoub。2000 作。Coop Breizh)

[CD/SWITZERLAND]

- *SWITZERLAND - Archive Of Folk Music C
 (副題 "Collection Constantin Brailoiu {1927-1951}。スイスのサントゥールというかハマー・ダールマーの姉妹楽器のハックブレットの奏者 Constantin Brailoiu の名演奏集。全 65 曲収録。英語解説書付。DVDケース仕様。2009 作。Disques VDE-GALLO)

[CD/BASQUE]

- *OSKORRI: Landalan (Elkar) D
 *OSKORRI: Hi Ere Dantzari (Elkar) D
 *BENITO LERTXUNDI: Benito Lertxundi ¥2800
 (一枚目。Elkar 盤。KD-47/48)
 *BENITO LERTXUNDI & EUSKADIKO ORKESTRA SINFONIKOA: D
 To Beni (1998 作。Elkar lanean)
 *GANBARA: Buhamien Balleta (Elkar)
 *ERRAMUN MARTIKORENA: Olerkarien Oihartzun D
 (バスクの SSW の Erramun Martikorena の 1993 年作。Erramun はバスクの伝統歌のスタイルを受け継ぐ SSW でフォーク・シンガーで、男性だが、高音の声で、悲喜こもごも感の感じられる唄を爽やかに、時に愁いも感じさせつつ優しく吟ずる。当時のバスク屈指のフォーク/トラッドの演奏家がバックアップ。1993 作。Elkar)

[CD/PORTUGAL]

- *DULCE PONTES: Peregrinacao ¥2690
 (「ずっと伝統的なファド熱愛者」と語るファド・シンガーの Dulce Pontes の豪華三つ折りパッケージの二枚組。聴くなり大物の器のどっしりとして、愁い感のあるヴォーカルに圧倒される。心が「ファド」だからだろう。音楽的にはファドというスタイルを超えて、民俗音楽や古楽や地中海音楽など万華鏡的に様々な音楽性を内包した音楽の中で、歌姫の Dulce は聖と俗が入り交じったような唄を地中海を自由に飛ぶカモメのようにおおらかにうたう。すべてがずば抜けている。そんな中で聴くギターの弾き語りによるファド・スタイルの唄が何と心に響くこと！アマリア・ロドリゲスも、たぶんびっくり。2017 作。UAU)
 *CRISTINA BRANCO: Post-Scriptum/Mumurios ¥2800
 (独特な感性を持つファドの歌姫 Cristina Branco の "Mumurios" {1998 年} と "Post-Scriptum" {2000 年} の二枚組。発売当時、二枚ともにタムボリンのベストセラー。2002 作)
 *SEIVA: SEIVA C
 (ファドが陰だとすると、Seiva の音楽は陽。Joana Negrao {カイト、パーカッション}、Vasco Ribeiro Casais {ギター、カキニョ、カイト、パーカッション}

ン)、Rita Novoa{パ-カッション}による音楽は、独特な大地の音を響かせ、Seiva のヴォーカルは民俗色を強めてパワフル。驚きのシンガーだ。2015 作。Galileo)

- *JULIO PEREIRA:Midadouro D
(お宝発掘。1987 年録音のカラフルなポルトガルの民俗音楽。1989 作。Garamba Music)

[CD/SPAIN&BRETAGNE]

- *PACO DIEZ&AN TRISKELL:Castillos En El Mar C
(スペインのフォーク・シンガーの P.Diez とポルトガルのヴァイオリン・ハーフトーナの An Triskell のコラボレーション。2006 作。Several)

[CD/SPAIN]

- *MIGUEL PUJADO:Canta Georges Brassens B
(マドリードのフォーク・シンガーの Miguel Pujado の 1992 年のアルバム。本作はフランスを代表する反体制的シャンソン歌手ジョルジュ・ブラッサンスの唄 17 曲をギターの弾き語りを中心にうたったアルバム。ブラッサンスはギターの弾き語りであらうことにこだわったという。軽快な曲調のギターの伴奏と巻き舌の語り口調の唄がフォーク・ソングとしてのシャンソンの味わいをにじませている。1992 作。Saga)
- *JOAQUIN DIAZ:Alta Alta Es La Luna C
(1991 年作のセファルディー{スファルディ}集。Saga)
- *FOLK ON CREST:Calle De La Botica C
(Folk On Crest はケルト音楽世界の隆盛に刺激を受け、結成されたスペインはサラマンカの若いトラッド・バンド。ガリシアのムニエラなどもやったり、バグパイプやホイッスルやギターがケルティック流のサウンドを高らかに響き渡り、紅一点の Yolanda Rio がパ-カッションを打ち鳴らし、ゴシのある抜群のシンギングで釘付けにする。サラマンカのフォーク・シーンに一石を投じる刺激的アルバム。2011 作。Severalia)
- *CABIELLA:Cabiella Of Sons C
(Cabiella はカステリヤ・イ・レオン州のブルゴス県の 4 人組トラッド・グループ。楽器編成は、フルト、アコ、パンテレイタ、ガイタ、ギター、パ-カッション。この楽器編成に女性ヴォーカル{Eugenia Lopez}の唄。僕の耳にはケルティックな匂いを強く感じる。ガリシアのバンドと言われても、違和感を覚えない。彼らの、いわばスペインニッシュ風味のケルティック・ミュージックは、実にかっこいい。シンガーの Eugenia のシンギングも風薫るシンギングで清々しい。各種楽器のアコースティックな清々しさが何とも快感。ディスクもトレイも落ち葉だらけ。2013 作。Folka)
- *MENAYA FOLK:Eclipse C
(Menaya Folk は 6 人組フォーク・ロック・バンド。中世・ルネサンス音楽からケルト音楽そして洋音楽までのレゾでおおらかに、華麗にロックする。彼らのアプローチは 70 年代~80 年代の頃の、ヨーロッパのロック・バンドがトラッド的なものを取り込んで、ヨーロッパ風エレガントなロックを創作していた頃のフォーク・ロックを思い起こさせる。文字通り、「フォーク・ロック」という音楽の方向性が明確な分、音楽が明快でストレートに楽しめる。みんな元気良い

なあ。2013 作。Several)

*PACO DIEZ & JAIME VIDAL: Romanceando C
(スペインの叙事詩/バラッドのロマンス集。ライヴ。ヴォーカルの Paco Diez は、中世の吟遊詩人と化し、ハーモニカ、ギター、マンドリン、タンバリン、パーカッション[弦楽器の中世スペイン風味もいいが、タンバリンやパーカッション等の打楽器の中世スペイン風味もいい]を奏し、うたい、Jamie Vidal がピアノで伴奏を付ける。ホピュラーなロマンスも多いようで、口ずさむ観客も。2011 作。Severalia)

*TAHONA: Relamidos C
(1972 年結成で本作が 11 枚目というレオン・カステイリャの男性トリオ“Tahona”の本作のテーマは「料理への賛辞」。アコ、ヴァイオリン、ギター、リュート、各種パーカッションが南欧ムードを高める中、三人が様々なシンキング・スタイルで伝統歌を、ある時はユーモアたっぷりに、またある時は祝宴ムードたっぷりに料理して楽しませる。2009 作。Several)

*RUAILLE BUAILLE: Ru:le Bu:le C
(スペインの 5 人組ケルティック・バンド。アイルッシュとスコティッシュを中心に現地のゲイテラン・ミュージシャン顔負けのセッションを繰り広げ、名前から推察してスコットランド人とおぼしき Duncan Bennett {唯一の現地人} が唄心ある味わい深いシンキングを披露する。タイタニックで有名になった“John {Sean} Ryan's Polkas”ほか全 9トラック。編成はホイッスル、ギター、イラン・パイプス、ブズーキ、ギター、マンドリン、フィドル、バウロン他。2008 作。Several)

*TRIQUEL: Sin Hacer Na C
(6 人組ケルティック・トラッド・ロック・バンド“Triquel”の豪快なケルティック・ロック。エレキギター、ベース、ドラムスがタイタニックなロックをたたき出し、フルート、フィドル、ホイッスルがケルトの風を巻き起こす。そして Juan Jose Carton のヴォーカルがまた圧巻。いわばスペインの Runrig。手に汗握らぬものはなし。2008 作。Armando)

*NOUR: Papier Mullat C
(ハルセ岬のアラブ・ムード濃厚な過激な 6 人組。アラブ歌謡とヒップ・ホップと北アフリカ音楽が合体し過激にロックしたようなワールド・ミュージック。Cheb Balowski のメンバーでリーダー格のパーカッション&ドラミングの Yacine Belahcene のヴォーカルといい、海でアラブ世界に繋がる東スペインならではの異国情緒な先鋭的ロックといいすこぶるテンションが高い。ブックレットにもアラブ文字。2007 作。Kasba)

*XAVIER BARO: Flors De Joglaria ¥1000
(スペインのフォーク・シンガー。カタルニャのフォーク・シンガーの X. Baro の本作は 70 年代ブリティッシュ・フォーク・スタイルのフォーク/フォーク・ロック。Xavier は夢の旅人のイメージでのトルバドール的でエレキ&アコースティック・ギター、ベース、オルガン、ピアノによる甘味ある優美なフォーク/フォーク・ロック。教会風オルガンや甘みあるギター等が 70 年代風ブリティッシュ・フォークの夢見心地さを引き立たせ、Xavier の唄は仮想の夢のサントの中でゆったり舞う。スペインのシンガーによる耽美的ブリティッシュ・フォーク。2006 作。Quadrant)

*PACO DIEZ: Romances De Caballeros Y Doncellas C
(スペインの叙事詩/バラッドのロマンス集。音楽の底に流れるのはアラブが香る中世スペイン音楽。Paco は巨匠 Joaquin Diaz 風柔和で気高く滑らかなヴォーカルの内に汎アラブ=地中海音楽絵巻的サントを巧みに取り込み、

エキゾチックな香り高いロマンス音楽をナチュラルに創作している。2007 作。
Several)

- *DIVERTIMENTO:Folk C
(カンタリアの電気トロンボーン・バンドだが、ガイトとダブルリードの笛そして各種パーカッション等の民俗楽器から作り出される民俗的サウンドはケルト系からアラブ系まで汎スペイン伝統音楽的幅の音楽性を保持。民俗楽器奏者とロック・バンドがセッションするようなタイプの電気トロンボーン。2006 作。Folka)
- *MAR DEL NORTE:Piramide C
(不思議な音楽。「ケルト」が大きな要素ではあるが、様々な不思議な音楽が様々な模様で編み上げられた極楽音楽。フルートとティンホイッスルがフィーチャーされた曲が中心で、典雅なのから豪快なのまで様々かつ色とりどり。2006 作。Several)
- *EDUARDO PANIAGUA:Tres Culturas C
(副題“Three Cultures—Jews, Christian and Muslims in Medieval Spain”。98 作。Pneuma)
- *QUARTETO MEDIEVAL DE URUENA
:La Lirica Sagrada En Los Trovadores ¥4880
(どっしり重い CDブック。Luis Delgado, Cesar Garazo, Jaime Munoz, David Mayoral が挑む中世トルガートル音楽。2001 作。tf media)
- *CASTILLA D
(カスティリアの音楽。24 曲入 2 枚組。96 作。Fonomusic)
- *BRENGA ASTUR:Cancios Del Gochu Xabaz B
(ケルト圏アストゥリアスからどでかいケルティック・ロック・バンド。ダイナミックなフォーク・ロック圧倒し、エキゾチック&エレガントな女性がヴォーカルで骨抜きにする。99 作。Fonofolk)

[CD/ASTURIES]

- *DUERNA:A Mansalva B
(“Prau Escenariu”という国際フォーク・ミュージック・コンペティションで優勝のアストゥリアスの 6 人組ケルティック・トロンボーン・バンドだ。彼らが目指す音楽はオリジナルなケルト音楽。Estefania の女だてらの、大地揺るがすパワフルなシンギングとガイトをフィーチャーした上昇気流を巻き起こすサウンドは、実に頼もしい。2011 作。Folka)
- *CELESTINA “CA SANCHU”:Ambas (Grau) B
(Celestina 婆さんによるアストゥリアスの伝承歌集。ヨまたは男性とのデュエットでうたわれる伝承歌の数々はぼくの耳には Joaquin Diaz がうたう他のスペインの伝承歌から伝わってくる気品ある味わいと同種のものを感じられ、音感的にはアストゥリアスという地域性を超えて、スペインの伝承歌として実に味わい深い。スペインの伝承歌ならではの品格ある味わいがたまらない魅力。全 32トラック。2007 作。Fono Astur)
- *ASTURIAS A
(アストゥリアスの音楽。24 曲入 2 枚組。96 作。Fonomusic)

[CD/GALICIA]

- *XULIO LORENZO:Cantos Da Ialma B

(ガリシアのフルート奏者の Xulio Lorenzo 名義のアルバムだが、ゲスト・ミュージシャン〜Diego Bea Besada {キター}, David Outumuro {ハカッション}, Paco Dicenta {エレベース}, Roberto Comesaña Rodríguez {アコ}, Ioana Pérez {ヴァイオリン}, Alberto Vilas {ピアノ} ~を加えたグループ形式の演奏で、独自のガリシア音楽を創作する。いわばガリシア音楽ののニュー・ウェイヴ。ガリシアの民俗音楽を敬愛する Xulio の音楽は、一見聞きやすいが、奥が深い。タイトル曲は Xulio が敬愛する女性四人組ポリフォニー・コーラス・グループの Ialma に捧げられたヴォーカル入りの曲で、軽やかな節回しとガリシア風味の哀調を帯びた曲調が心に響く。2017 作。Inquedanzas Son)

- *IALMA: Camiño: De Bruxelas A Santiago B
 (Ialma は Veronica Codesal, Magali Menendez, Natalia Codesal, Marisol Palomo の女性四人組ポリフォニー・コーラス・グループ。彼女達はガリシアの伝承歌の伝統を四人のコーラスで表現するが、そのソロ・シンギングとコーラスはガリシアのトラッドの香り高く極上な上に、ベルギーのトラッド系ミュージシャンを中心にした精鋭なトラッド〜ワールド・ミュージック・サウンドは、音楽的レベルも高く、充実しきっている。スコットランドから Ross Ainslie {ホイッスル} がゲスト参加。2016 作。Home)
- *CHOUTEIRA: Folla De Lata C
 (お宝発掘。ガリシアの歌姫 Uxia をヴォーカルに据えた異色のガリシアン・トラッド・バンドの Chouteira の 2000 年の三枚目。面白いのは、ギターやパンデレイタやアコなどの馴染みの楽器に加えて、サクソスやチューバやトランペットなどの管楽器が加わっていて、イングランドなら Brass Monkey のような音作りを加えていること。このサウンドは、ケルティックなガリシアン・トラッドに耳慣れたファンには目新しく響くが、ある意味むしろ南欧〜地中海の民俗音楽的な響きでもあって、むしろ土俗性を増しているようにも感じられる。Uxia の孤高のシンギングはここでも素晴らしい。2000 作。Boa)
- *NA LUA: As Fases De Na Lua C
 (ガリシアを代表する歌姫 Uxia を擁したガリシアを代表するトラッド & フォーク・ロック・バンド "Na Rua" の 20 周年記念アルバム。既発表音源からの全 18 曲。ガリシア独特なケルティック・サウンドは、今聴いても鮮烈。2001 作。Boa))
- *UXIA: Estou Vivindo No Ceo (1995 作。Nubenegra) C
 *MILLADOIRO: Galicia No Tempo (90 作。Discmedi Blau) B
 *MILLADOIRO: 3 (92 作。CBS) B
 *MILLADOIRO: Solfafrica (ゲスト: Paddy Moloney。92 作。CBS) B
 *MILLADOIRO: Unha Estrela Por Guia (2006 作。Discmedi Blau) B
 *MILLADOIRO: Auga De Maio ¥1000
 (購入者からの連絡で開封したところ、ブックレットを留める刺キスがさびていました。格安にて。99 作。Discmedi Blau)
- *EMILIO CAO: Cantas Marinas (1998 作。Do Fol) D
 *BERROGUETTO: Kosmogonias ¥2880

(三つ折特性ジャケットの CD+DVDセット。ガヴァ奏者でもある Xavier Diaz をヴォーカルに迎えたガリシアの大型トラッド・バンドの Berroguetto の 4 枚目にあたる本作は横綱級ガリシア・トラッド。全てのサウンドが卓越していて、美しく響き合い、他のバンドの追随を許さぬガリシア・ミュージックの王者の音楽。DVD は PAL 方式で、メンバーのインタビューやバンドのライブにイメージ・フィルム等。2010 作。Discmedi)

- *BERROGUETTO: Viaxe Por Urticaria A
(ガリシアの最先端トラッド・バンドの Berroguetto の 99 年作。BOA)
- *BERROGUETTO: Hepta A
(威風堂々としたリジナルなガリシア音楽。ゲスト: Kalman Balogh [ハンガリー], Markus Svesson [スウェーデン], Jiva Gasparian [アルメニア]。特性三つ折りジャケット。2001 作。Do Fol)
- *PANCHO AVAREZ: Sólidos Galicianos B
(「一言で言えば従前の才気走った音楽作りを程よく抑えて、より自然体でよりインティメートな感覚でさらりと演じたのが本作と言えるだろう。パンチョの音楽は枯れた味わいでは決してないけれど、この変化は良い意味での成熟を感じさせる。加えて、独特の淡さを持った美しさが全編に貫かれているのが何とも素晴らしい」本作はアルバム・タイトルからも彼のガリシア文化への一貫した敬愛の情が伺えるが、シャカリキになって一つのテーマを訴えるというのではなく、一種の余裕を感じさせる包容力のある音楽となっているのだ。白石和良さんの乱聴記より。2009 作。Pai)
- *MALVELA: Da Mina Xanela A Tua B
(Na Lua のヴォーカルでガリシアを代表するトラッド・シンガーの Uxia の共同プロデュースで、シンガーの一人として参加のガリシアとポルトガルの民衆音楽を姉妹音楽として捉え、ガリシア風であり、かつポルトガル風なのか、南欧的で牧歌的な民謡など Uxia を含めた民謡おばさん達の底力ある快活なヴォーカルと軽やかな音楽が楽しい。カヴァキニョのココロしたサウンドがくすぐったい。2007 作。Pai)
- *DIPLOMATICO: Komunikando C
(ゲスト: Uxia, Susana Seivane Isaac Palacin [Berroguetto]。2003 作。Boa)
- *FALTRIQUEIRA: Effecto B
(ガリシアの女性 4 人 [前作から一人減った] のヴォーカル・グループの 4 年振りの本作はバスクでの録音で Pascal Gaigne がプロデュース。パントレタ [片面太鼓] を叩き、澆刺と唄う彼女等の唄と音楽は若々しくカワル。ガリシアの楽士達の音楽は汎地中海音楽的エキゾティズムを注ぎ込み、陽光降り注ぐエキゾチック・サウンド。2006 作。Resistencia)
- *ABRAXAS: Ruina Montium C
(1999 年結成のガリシア・ケルト系バンド。ガリシアのバンドか定かではないが、Hevia, Cristina Pato, Leilia 等のガリシアのハイパー・グループとの共演経験を持つ彼らの音楽はリーダ格でギター&フルト奏者を中心にギター、バングォー、ヴァイオリン、サンフォニャ、アコーディオン、クラリネット、ブズーキ、サクソ、ベース、各種パーカッション等によるガリシア音楽プラスαの音楽。2005 作。Legados)
- *AVALON: Lua Meiga B

(ガリシアから登場の若き女性6人のケルティック・バンドのデビュー作。2000年録音。Blau)

- *HEVIA:Tierra De Nadie/No Man's Land ¥1500
(ガリシアではなくアストゥリアスのバグパイプと思われるが、彼の電気バグパイプとアストゥリアン・バグパイプはスピリチュアルな粋まで到達している。音楽は自身のルーツを基盤にしたもので、ロックっぽい斬新な音作りや土俗的匂いを醗酵さす女性がヴォーカルの挿入等も極めて独自色を発散している。素晴らしきパイプだ。2000作。EMI-Odeon)
- *LEIXAPREN:Gaitropos C
(伝統的なトラッドを肥やしに中世音楽まで視野に入れた典雅で清々しい音楽。カサ、フルト、ガイ等の笛楽器の風の流りにアコやギター、パーカッション等が軽やかに絡まる。風のように軽やかでいて、ちゃんとガリシアン・トラッドの土着の音楽の躍動感や土臭さをもキープ。ゲスト: Panch Alvarez. 92作。Sonifolk)
- *GALICIA A
(トラッドからポピュラー音楽、宗教歌まで全21曲。89作。Fonomusic)
- *FUXAN OS VENTOS:Sempre E Mais Despois B
(ヴェラン・トラッド・バンドの7枚目。ガリシアの根っこの愛すべき民衆音楽。必聴! 99作。Fonofolk)
- *CHOUTEIRA:Folla De Lata C
(ガリシア屈指のヴェラン・トラッド・シンガー、Uxiaを擁する Chouteiraの3rd。3本のブラスを導入した斬新な音作りによる柔軟で力強いガリシアン・トラッド・アルバム。金属の衫のワケ付。2000作。Do Fol)
:Iacobus Magnus(94作。Discmedi Blau) A

[CD/ITALY]

- *ROSAPAEDA:In Forma Di Rosa B
(お宝発掘。南イタリアの歌姫 Rosapaedaの2001年のアルバム。久しぶりに聴いて、彼女のアラブ=地中海風味香るヴォーカルと敏腕演奏家達による汎南イタリア~汎地中海音楽的にスケールの大きな民俗色豊かな音楽に惚れ惚れ。2001作。Sottosuono)
- *MASSIMO FERRANTE:Popolaj Kantoj C
(アルバム・タイトルは英題"Popular Song"。イタリア南部の音楽の復興を目指す Massimo Ferranteの新譜はまるで「素晴らしき南イタリアの音楽」。目線は常にイタリア南部の民衆音楽だが、本作はアコースティックな作りで、目線が民衆の目線により近く感じられる。まるで日当たりのよい場所で彼と仲間達が目の前で笑顔で、感嘆の声を上げながら演唱しているかのように音楽が生き活きとしていて、喜びと悲しみの唄と音楽がピンピン響いてくる。本作では Massimo の古くからの音楽仲間ナポリ古謡の大家の Daniele Sepe が各種笛の伴奏で協力。2015作。Felmay)
- *DARIO MUCI:Mandarari B
(イタリア半島南東部サレント半島の民謡の研究者でシンガーの Dario Muci の素晴らしきサレントの民謡の世界。フォーク・シンガーとしての器の大きさは、スペインの Joaquin Diaz クラス。民俗音楽としてもワールド・ミュージックとしても、極めて質が高

い。2007 作。Anima Mundi)

*RADICANTE:Lettere Migranti C

(Radicante は 1996 年にパリで結成されたイタリアのフォーク・ロックバンド。メンバーは Giuseppe De Trizio{ギター、マンドリン}, Enzo Granella{ヴォーカル、ギター、チャランゴ}, Fabrizio Piepoli{ヴォーカル、ギター他}, Vittorio Gallo{サックス}, Pierpaolo Martino{ベース、コントラバス}, Daniele Abbinante{ドラムス}。地中海音楽的範囲で、民衆音楽をベースに独自の豊かな民俗音楽を創作する。2002 作。CNI)

*PICCOLA ORCHESTRA ZACLEN

:La Musica Di Carlo Brighi 'Zaclen' B

(1853 年、ローマ生まれの音楽家で作曲家のカロ・ブリギ{ニックネーム "Zaclen"}のダンス音楽はローマのクラブやダンスホールで大人気だったという。本作は彼の楽団が演奏したダンス音楽[楽譜が公共図書館に保存されていて、77曲465曲、ホルル141曲他]を5人の楽師が当時の音楽を忠実に再現したもの。英語解説付。全20曲。Tesa Dancer)

*ALESSANDRO TOMBESI:Barene B

(1994 年生まれの若きハープ奏者でシガーのデビュー作。ケルトのハープとは違う、イタリアはヴェネツィアの伝統音楽の土壌の上に咲いた優雅で穏やかなハープ・ミュージック。音楽的に完成度が高く、味わいが深い。2011 作。Calicanto)

*YO YO MUNDI:Munfra B

(本作は北イタリアのピエモンテにあるモンフェラートという町の歴史、文化を音楽で表現したもので、北イタリアの民族音楽として、音楽の水準が高く、また多彩な音楽は魅力的で、かつまた全曲を通して、音楽賛歌或いは祝祭的ムードが音楽を華やかにしている。この地域のミックス文化を象徴する音楽の多彩さが実に楽しい。ゲスト:Steve Wickham {Waterboys}, Sergio Berardo {Lou Dalfin}, Filippo Gambetta, Fabio Rinaudo&Daniele Caronna {Birking Tree} 他。2011 作。Felmay)

*A FIL DE CIEL:Vertigo B

(2004 年に結成された北イタリアのトラット・グループによるオクシタニア地域の中世から近世の伝統歌を中心にした南欧トラット風に典雅で刺激的な南欧のトラット・アルバム。何よりも魅力的なのはハーティ・ガーティ奏者でリード・ヴォーカルの Rosella Pellerino の南欧の女性シガー特有のエキゾチックで豊かなシンギング。今日の勢いある南欧のトラットだ。2010 作。FolkClub EthnoSuoni)

*BANDABRISCA:Io Ballo Brisco B

(1995 年結成の北イタリアの7人編成トラット・バンドのデビュー作でライブ盤。楽器編成はギター、アコ、ヴァイオリン、フルート、サックス、ベース、マンドリン、ピッコロ。彼らは本来ダンス・バンドなのだが、彼らは余興のつもりなのだろうが、実は男性トリオでのアカペラ・シンギングも素晴らしい。ピッコロやアコガリズムを取るダンス音楽は独特{このサウンドこそ北イタリアの優雅なダンス・サウンド}で、John Kirkpatrick の "Jump At The Sun" なんかも中世の街角で聞こえてきそうな楽しげなダンス音楽の趣。2010 作。FolkClub EthnoSuoni)

*7 KM DA GERUSALEMME C

- (Pivio E Aldo De Scalziによるサウンズ。古代神話を夢想したような音楽。アラブ的でケルト的で古代ギリシャ的かつ前衛的で現代的な万華鏡音楽。Anunaのような女性合唱があったり、男女の不思議な吟唱があったり、ケルティック・ロック風なのがあったり、神秘性を軸に音楽のスケールがでかい。画面を観て一層醍醐味ある音楽だろう。2007作。CNI)
- *SOFFI d' ANCIA "Decennale Del Festival "Pifferi", Muse
E Zampogne C
(10年の歴史のフェスティバルからバグパイプ、各種ダブルリード楽器の演奏を集めた編集盤。Calicanto, Birking Three, etc. 全21トラック。2005作。Radio Music)
- *NIDI d' ARAC: Nidi d' Arac C
- *ANGELO BRANDUARDI: Caminando Caminando (96作。EU EMI) ¥1680
- *ALPHABASS: T Ar Ant A Tr A Nce B
(何とも不思議な音楽。南イタリアの音楽をサブリング多用し大改造したもののようだが、音楽だけ聴けば、アラブ音楽かと思うほど、男性ヴォーカルはアラブ色濃いき、打ち込みのリズムも流れるメロディーもアラブ色を帯びている。2003作。Sottosuono)
- *N. C. C. P. : Teatrante ¥1780
(NCCPのベスト盤? 11曲入。2001作。Warner Europe)
- ※ナポリの古謡とNCCP ¥700
(その昔当店で発行した書籍です。by ニタ村発生。1988年発刊。田圃鈴)
- *ARTURO STALTERI: Rings-Il Decimo Anello B
(ピアニスト兼作曲家が「指輪物語」にインスパイアされて作曲した全曲「指輪物語」がらみのケルト風味ファンタジー音楽。イタリアでベストセラー。2003作。Materiali Sonori)
- *BALLATE ARCADICHE: Canzonie E Brani Strumentali Di
Tradizione Celtica ¥1000
(ケルト音楽に挑む男性トリオ。アイリッシュ・トラッドの著名曲ばかりをヴォーカル、ベース、クラシックギター、フルート等で気品高く、ロマンティックに唄い、演奏する。イタリア産夢想ケルト音楽。全18曲。Arx Collana)
- *UARAGNIAUN: Uaili (2枚目。96作。Officina&Piazza) B
- *VINCENZO ZITELLO TRIO: Concerto B
(ケルティック・ハーブ奏者 V. Zitello 率いるトリオによるライブ。ハーブの持つ優美さ、宇宙的深遠さを追求した彼等独特な音楽。2001作。Dunya)
- *SPACCANAPOLI: Spaccanapoli A
(Spaccanapoli はあの白熱の大衆音楽集団 E Zezi で育ったナポリの5人組大衆音楽グループ。彼等の出発点は自分達固有の文化の復興。E Zezi の血を受け継ぐ Monica Pinto の腹の底からの魂の唄と大地揺るがすがイミッシなトラッド・サウンドは正に圧巻。2000作。Real World)
- [CD/MEDITERRANEAN]**
- *MARIA DEL MA BONET-AL TALL ¥2790
: Cancons De la Nstra Mediterrania (1992作。BMG)
- *PAVLO: Fantasia C
(地中海ギリシアの Pavlo によるマジカな汎地中海メロディー集。アラブ〜ラテン

～汎地中海風味の全 13 曲。1999/2004 作。Justin Time)

[CD/SARDINIA]

- *CADABA:Do Y Sidemol B
(女性 3 名男性 6 名の 9 人編成トラット・グループ。ガイト{バグパイプ} 3 名の機動力を発揮したいかにもガリア～アストゥリアス・タイプの高潔なダンス曲からギター、ホイッスル、アコ等がフィーチャーしたしっとり叙情的、あるいは小気味よい曲まで音楽のレンジが広い。ガリア～アストゥリアス的な民衆的な情感をストレートに音楽に反映した潔さが気持ちいい。2005 作。San Migue)

[CD/POLAND]

- *WARSAW VILLAGE BAND:Sun Celebration D
(Warsaw Village Band の七枚目に当たる新作は二枚組。三人の歌姫をフロントに立てた彼らのヨーロッパと東アジアの範囲で国境を越えた独自のワールド・ミュージックは、本作でさらに勢いを増していて、感動的。土俗的な歌姫達の唄は汎大陸的な大地の響きだし、民族楽器を駆使した音楽は様々な民俗性がミックスされて呪術的で妖艶。ゲスト: Mercedes Peón, Ustad Liaquat Ali Khan, Sanjay Khan, Amrat Hussain。2017 作。Jaro)
- *WARSAW VILLAGE BAND:People's Spring C
(2001 年作。ポーランド原盤。Orange World)
- *BERKLEDDY:Muzyka Nasluchana C
(副題“New Folk Music From Poland”。祖父から習ったという Cymbaly {ハンマー・ダルツマー} 奏者 Andrzej Zajko の Cymbaly をフィーチャーしたポーランドのトラット。エレキギターやドラムス等の 6 人組のバンド編成で清涼感あるフォーク・ロック。ブックレットには Cymbaly の歴史と話 {英訳} もあり。98 作。Orange World)

[CD/SLOVENIA]

- *MAGNIFICO:Grande Finale A
(Balkanbeats Vol. 1 に登場のイタリアの東の国スロヴェニアのジプシー・ロック・バンド。グラス付きのロック・バンド編成でジプシー音楽とアクの強いカントリー・ロックを泥臭く混ぜこぜにした活力あるジプシー・ロック。大半の唄は英語で Magnifico のヴォーカルは野太い。不思議な感触の大胆なロックだ。2007 作。Arih)

[CD/UKRAINE]

- *SVITLANA NIANIO:Kytytsi B
(三つ折りの厚紙ジャケットの左袋に CD、右袋にイラスト集、真中にブックレットという外観は安っぽくも手作りの愛情ある作りの CD。早春の香りのする Svitlana のか細く美しく自由に舞うようなシキングがそれ自体がえも言われぬ魅力。全 16 曲夢の中保証。99 作。Koka)

[CD/CZECH]

- *BRAN:An Delienn B

(ブルターニュの音楽の影響を強く受けた女性一人を含むチェコの6人組トラッド・バンド。ヴォーカルのほか楽器編成はアコ、クラリネット、ボンバルド、フルト、コントラバス、ギター、ブズーキ、パーカッション、ホイッスル。ブルターニュのトラッド・シンガーの Yann-Fanch Kemener をホフツさせる Dewi Pajot の見事なシンギングとブレトン・ミュージック風ながら、彼らならではの気高さ・典雅さとフォーク・ロックっぽいノリで風を切る疾走感と醍醐味は新鮮。2008 作。Indies)

*NEREZ: Jednou Mer, 2xNerez

B

(本作が4枚目という4人組。チェコ、ロシア、ポーランド、ジプシー、ユダヤ、スペインのフォーク・ミュージックの影響を受けたという彼らの音楽だが、オリジナル・アルバムでヴォーカルの Zdenek Vrestal のメルヘンチックだったり、メランコリックなSSW的な持ち味にシンプルなリズムによる独創的アレンジで自分の世界を彩っている。2004 作。Indies)

[CD/SLOVAKIA]

*FIGUR BANDA: Hungarian Village Music From Slovakia C

(スロヴァキアのハンガリー音楽。トランシルヴァニアの活きのトラッド・バンドをホフツさせるハンガリー臭たっぷりの村の音楽。楽器編成も正統派ハンガリアン・バンド編成でオバさんの歌を含めて味わいが濃い。ブックレット収納のポケットはあるが、ブックレットはない。2002 作。Ifju Szivek)

[CD/CROATIA]

*DARKO RUNDEK & CARGO ORKESTAR: Mhm A-ha Oh Yeah Da-da B

(民俗性豊かな音楽をベースにジャズやロックやクラシック、レゲエ等ジャンルを超えた音楽で自らが流民であることから生まれた孤独感や社会的メッセージ等を唄と多様な音楽で創作力豊かに表現している。英語解説付。2006 作。Pi'ra:nha)

[CD/BELARUS]

*IVAN KIRCHUK: Heritage Of The Lost Villages C

(各種民俗楽器を駆使した Ivan Kirchuk と男性地声合唱による素晴らしいベラルーシの民俗音楽。全33曲。2000 作。Pan)

[CD/RUSSIA]

*INNA ZHELANNAYA: Izvorot D

(二枚組。本作で Inna と彼女のバンドは、ロシア各地の民謡を、おおよそ民謡の音楽としては常識的には考えられないほどダイナミックにロック化。彼女独特な混沌として暗鬱なロシア・トラッドは、スウェーデンの革新的トラッドと通じ合う土俗性を持っているのは、興味深い。常に究極を目指す Inna は偉大なるロシア民謡の革命家だ。ロシアの大地に永眠中の地霊や精霊達も狂い踊りしそう。2014 作。Inna Zhelannaya)

*COSMONAUTIX: Energi ja

B

(“Russian Balalaika Speedfolk” と呼ばれる男性4人組ロシア・フォーク・バンドだが、彼らのバライカを全面に押し出したサウンドとダンスブルなフォーク・ロックは独特で、ロシア民謡+少々のカズマーの匂いをこれでもか、これでもかと振りまく。そのリズムの速さとヴォーカルの Morgan Nickolay の大上段に構えた風の唄はユーモラスでもある。元気ハツツなロシア・バンド)

だ。2011 作。Piranha)

- *SARATOVSKAYA ¥2780
(CD+DVDセット。副題“Traditional Russian Accordion Music Of The Middle Volga Region”。1860 年代からロシアのサトフで演奏されているサトフ・タ イトニック・ボタン式アコーディオンの演奏家 10 名の演奏を収録した 40トラック収録 CD。2010 作。Pan)
- *FARLANDERS:Farlanders B
(Farlaners の 2 枚目。角笛、バグパイプ、クラリネット等吹奏楽器が全面に出た彼等独特な土俗の音楽は圧巻。1998 作。ト イツJaro)

[CD/GEORGIA]

- *GEORGIAN FOLK SONGS ¥1580
(ゲルジアのフォークソング集。全 17 曲。合唱を中心にヴォーカルの魅力が多彩。94 作。ホルガ Sound Of The World)

[CD/BULGARIA]

- *ORATNITZA:Oratnitza B
(ブルガリアの音楽というとブルガリア・ヴォイス等女性ヴォーカルを中心に素の「民謡」が多かったが、彼らは異色。ブルガリアの民族のメロディーとリズムを発掘し、勢いある彼らのフォーク・ミュージック/ワールド・ミュージックを創作している。音楽に向かう姿勢も音楽も北欧の先鋭トラッド・バンドに通じるところがある。2012 作。Fusion Embassy)
- *BULGARIAN MUSICAL FOLKLORE a
(by “Svetoslav Obretenov” Bulgarian National Choir。全 22 曲。91 作。Gega)
- *BULGARKA:Vocal Trio (89 作。Balkanton) a

[CD/HUNGARY]

- *SONDORGO & FERUS MUSTAFOV:In Concert ¥1000
(南スラブの伝統音楽グループの Sondorgo とマケニアのジプシー音楽の王と呼ばれているクラリネット兼サクソ奏者の Ferus Mustafov のコボシは変拍子多用で重層的リズムの、滅茶苦茶躍動的なマケニアン・ジプシー音楽色濃厚な音楽。Agnes Herczku がコボシの利いたシンギングも最高。2008 作。Sondisc)
- *META:Betoltse Szivedet... C
(副題“Hungarian Folk Music”。Marta Sebestyen&Muzsikas の影に隠れて存在感が薄かった Meta だが、Salaman Beata と Nemeth Ferenc の二人のシンガーと Muzsikas スタイルの音楽は圧巻。2001 作。Folk Europe)
- *MESZECSINKA:Meszecsinka C
(アラブがかった Makam&Kolinda に初期 Kolinda 時代のイェルベ-+α を注入したかのような物凄い土着的イェルベ-に満ちたフォーク・ロックだ。というのが前半。6 曲目の“Kuku”という民謡風の唄から傾向が変わる。7 曲目は前半と同じ傾向だが、8 曲目以降最後 11 曲目まで、今度は音楽がシンプルかつスローになり、Annamaria の唄が魔性を帯びる。ミスマの利いた悠久のヴォーカルが素晴らしい。圧巻。2012 作。NarRator)

- *MAKAM: Sindbad B
(Lovasz Iren がヴォーカルの Makam の 2005 作。Z Paravan Kiado)
- *MAKAM: Akom Bakom B
(Makam の本作は子供向け。ジャケットもブックレットも幼稚園の子が描いたような絵画。音楽は手抜きなしの魅惑の Makam サウンド。2006 作。Hangveto)
- *MAKAM: Zarandokenek (2008 作。Z Paravan Kiado) B
- *ORFEO: Zenezcsoport B
(Kolinda 結成前の Kolinda のメンバー達の貴重な音源集。Kolinda はデビュー時から、ロック・ファンにも衝撃を走らせた完成品以上の完成品だったが、本作では、Kolinda 前夜の完成音楽、ハンガリー伝統音楽等が聴ける。試行錯誤時代の Kolinda と Kolinda の姉妹グループの Vizonto の興味深い魂震わす演唱だ。全 22 曲。P62 のブックレット付。2011 作。KOKE-001)
- *KORPAS EVA: Szerellem, Szerellem B
(英題“Love, Love”。Primas Parade, Tukros Band, Lakatos Robert などのアルバムで麗しのヴォーカルを披露しているトラッド・シンガーの Eva のソロ。本作は、ジャズ風味のハンガリアン・トラッド。Eva のエキゾチックで独特な麗しさは不思議な安らぎ感がある。Muzsikas 系でも Makam 系でもな新感覚の魅惑のハンガリアン・トラッド・アルバムだ。全 18 曲。2010 作。FolkEuropa)
- *BOGNAR SZILVIA: Csintekerinto B
(Szilvia の本作はハンガリアン・トラッド・ミュージックの新たな魅力を教えてくれる魔法の音楽。Szilvia の視線は子ども。だからこそ、Szilvia のシンギングは柔らかく優しいし、各種民俗楽器 + α による音楽はハンガリアン・トラッドのサウンドで自由に絵を描くように彩る。マルチタクトなジャケット意匠もブックレットもデザイン賞を上げたいほど。ボーナス・シングル CD 付。2011 作。Gryllus)
- *BIRO ESZTER: Zeneim 2000 - 2006 B
(Biro Eszter が自分のバンド Biro Eszter Quintet を結成する以前にソロ・シンガーとして活動していた時代の音源の編集盤。唄はハンガリー語と英語の両方で、音楽はラスト収録の一曲“Outro”以外はハンガリー色はなく、大型ポップ・ロック・シンガーのレベルの魅惑の今日の音楽。P20 のブックレットの各ページが Biro Eszter 写真集のよう。トラッド系シンガーとして再出発する前に一時代を築いていたことを証明する華やかな編集盤だ。歌唱力は疑いなくワールド・クラス。+ 容姿も。2006 作。Miss Biro)
- *EKTAR: Kontrapunkt C
(Ektar はあの Toth Evelin がヴォーカルの七人組。ある種 Evelin のヴォーカルというかハミング というかスキットは究極の追分的。音楽は Makam の音楽エッセンスを抽出したこのようなエキゾチックでスピリチュアルな音楽。全編、サランギが発するアラブ情緒がお香のようにゆらゆらと立ち昇り、Evelin の魂の唄はまるで宙に浮く羽毛のようで、風や光に感応し、唄を発しているかのよう。2010 作。Folk Europa)
- *TEKA: Wildflowers C
(副題“Hungarian Village Music”。Sebestyen Marta with Muzsikas を彷彿させる Tarnoki Beatrix with Teka の気高く、凛として美しい Beatrix のシンギングとハンガリアン・トラッドの土俗的な音楽を

追求しつつ創作力豊かな音楽は躍動感と勢いがみなぎり魅力的。
ハンガリアン・トラッドの王道をゆく頼もしいバンドだ。全18曲。2010作。
Teka)

- *DUTAR: Idegen Vendeg C
(次世代のスケールの大きなバンド。一曲目のまるでヴァルティケを想わず遊び唄のような快活なリズムの Csoké Renata のヴォーカルとハンガリーの民俗楽器を駆使したエキゾチックに熱く大地の音をたたき出す音楽に圧倒されたあと自由自在に舞うような Renata のヴォーカルと民俗音楽を超えた即興的音楽とが一体化したハイレベルなハンガリー発の音楽を展開する。2008作。Fono)
- *VIKTORIA HERENCZAR: Geza Allaga - Hungarian Cymbalum Concert (92作。Quintana) C
- *GAZSA: From Budapest To Kommando C
(“Gazsa”のニックネームで知られる1980年代のトランシルヴァニアのフォーク・リヴァイヴァルの著名フィッラーの Istvan Papp Gazsa 率いる Gazsa の多彩なフィッラーが舞うハイレベルなハンガリー音楽。英語解説付。2003作。FolkEuropa)
- *POLGAR LILLA: Szeretet Probaja C
(小鳥の囀りの Polgar 嬢による美しく清々しいハンガリアン・ヴォイスの響き。無伴奏や一人デュエット等も挟みながらハンガリー風コソソ翻る美声が森を駆け抜ける。2002作。Etnofon)
- *BEKES BANDA: Zsok・Joc C
(副題“Romanian Village Music from Hungary”。1978年結成のヴェテラン・トラッド・グループによるハンガリー南東部のルーマニア音楽。英語解説付。2001/2004作。Etnofon)
- *NINCS PUSZTINA BEKERITVE D
(2枚組。副題“Hungarian Moldavia’s Celebrations and Everyday Life”。クリスマス・ソングや婚礼歌や兵士の歌や季節の歌や葬儀の歌や子守歌やもちろんダンス音楽等などタイトル通りの Katalin&Erzsebet ばあさんふたりの生きた民衆音楽集。英語解説付。2005作。Etnofon)
- *MOHACSY ALBERT・NAGY ZSOLT: Tizenket Banda C
(Meta のメンバーの Mohacsy {タムバース、チロ} と Nagy {フィッラー} がゲストを迎えて共演したもの。共演者は Meta をはじめ Muzsikás, Bekecs, Galga, Teka, Tukrus, Galga, Uszturu, Fono, Csik, Berka のグループのメンバーやツイパロン名手 Balogh Kalman 等など。2004作。FolkEuropa)
- *MUZSIKAS・SEBESTYEN MARTA: Hazafele (96作。Gong) C

[CD/BELARUS]

- *KRIWI: Past&Present C
(ベラルーシのトラッド・バンド。北欧のサーミののような呪術性にウクライナの騎馬民族的躍動性にアラブ風変拍子多様な魔性にヨーロッパの中世音楽の祭祀性と優美性等多様な音楽性は底知れぬ深さ。他の国のトラッド・バンドとは比較できない魔力と魅力がある。1998～2003年の収録曲からの編集CD。2004作。Orange World)

[CD/KLEZMER, GYPSY, BALKAN 他]

- *ALEXANDER FEDORIOUK: The Art Of The Cimbalom A

(2003 作。Traditional Crossroads)

*DEN FLYGANDE BOKRULLEN:Shuff! B

(スウェーデンの6人編成のクレズマー・バンドの3枚目。「クレズマーのパンク・ロッカー」と言われる彼等のクレズマーは、ホーン3台とサクソ&クラリネット{同じ奏者}が1台の4台の吹奏楽器が炸裂するまるでバルカン・ビート・バンドのような祝祭ムード満点なクレズマ。世界で最もハッピーなクレズマー・バンドかも。2007 作。Arko)

*OLD SALT:Up River Overseas C

(Old Salt は米国人一名、スコットランド人一名、ベルギー人三名、スウェーデン人一名で二姫四太郎の六人組。彼らが初めて音合わせしたのは、2013 年の夏にスロヴェニアで開かれたフォーク・フェスとのこと。核になる音楽は米国人シンガーでバンジョーとフィドル担当の Dan Wall の音楽性、それはアパラチアン音楽とワールドタイム・ミュージック。Dan Wall 自身がその系統のシンガーとして、ミュージシャンとして秀でた才能の持ち主で、他国の音楽仲間の手を借りて、その系統の音楽の最前線のハイブリッドな音楽を創作していて、お見事。加えて、ヨーロッパの古風なジプシー音楽のサウンドもご披露。音楽の素材は古いが、前向きに音楽する楽しさがガンガン伝わってくる爽快盤。2016 作。Appel)

*GIRO:Galway International Retro Orchestra C

(アイルランドのゴールウェイで結成された一姫三太郎の四人組。一姫でフィドルのまよさんは日本人で、Giro のアコーディオン奏者の Anders Trabjerg の奥様。Anders はゴールウェイで長年演奏活動をしているデンマーク人。残りの二太郎はカナダ人フルート奏者の Kyle Borley とニュージーランド人クラリネット奏者の Geoff Ward。彼らが目指す音楽は 20 世紀はじめ頃の雰囲気音楽。この目標設定は大正解。アイリッシュもジプシーもクレズマーも北欧も「20 世紀はじめ頃の雰囲気」をそれ風のレトロなサウンドで創作していて、ユニークだし、全体を通して、コミカルだったり、ホロリとさせられたり、音楽に人情味が感じられて、心はずっと笑顔。古いアイリッシュと古いジプシー音楽が調和共存する音楽を初めて聴いた。2014 作。GIRO)

*URBAN TUNELLS KLEZMERBAND:In Der Fintster B

(ルウェーの男性 5 人組クレズマー・バンド。Klezmatiks がクレズマー音楽の伝統と精神を重んじ、創作意欲盛んなのに対し、こちらはクレズマー音楽の音楽性に限界を設けず、ジャズやロックやタンゴ等を自在に盛り込み、また唄は Tom Waits のようなダミ声で演技的にうたう。型に囚われないネットワークの軽い独創性に溢れてはいるが、唄にはクレズマー音楽の心が執念深くうたい込まれている。クレズマー音楽の、ある意味進化形。面白い。2011 作。Curling Legs)

*EARTH WHEEL SKY BAND:Trans Romano C

(セルビアの Roma [ジプシー] 音楽バンドの豪勢なジプシー音楽。バンドのリーダーでヴォーカルの Vince Olah はセルビアのジプシー音楽シーンでカリスマ的存在らしく、Vince の魂を鼓舞するヴォーカルにも圧倒されるが、まるで全ジプシー音楽の魂と多様な音楽とを一身に背負ったかのようなアラブ=地

中海～バルカン音楽的スケールの醍醐味あるお祭り音楽は物凄い。アルバム・タイトルは“Trans Romano”が正しいが、表紙は“Trans Rromano”となっている。2009 作。ポーランド Tylkomuzyka)

*NOA: Classic Noa. The Israeli Songbook C
(Noa が過去 50 年のイスラエルの文化等からインスピレーションを得て作詞作曲した歌集。言葉はヘブライ語。オーケストラを中心にした壮大な音楽の中、Noa は舞い踊るようにうたっている。2013 作。Pinorekk)

*DANIEL KAHN & THE PAINTED BIRD: Lost Causes B
(バンド・リーダーの D. Kahn はカリスマ性があり、中々のツモリ。主に 100 年～200 年前にユダヤ人がうたった唄を掘り起こし、ある時はマランコリックに、ある時は夢うつつに、ある時は民族意識高く朗々とまたある時は祝祭ムードたっぷりに、D. Kahn の渾身のヴォーカルを中心に多彩な色彩感覚 & 音楽感覚で魅力的なクリスマス音楽を創作する。Adrienne Cooper, Brave Old World の Michael Alpert 等がゲスト参加。本作は音楽賞を授賞。2011 作。Oriente Musik)

*SOLFRID MOLLAND: Katedral For Tapte Drommer B
(ロシア民謡やジプシー音楽を聴いて育ったというルウェーのジプシー音楽シンガーの本作は、ジプシー楽団の Taraf De Haidouks や Pascal De Loutchek {ギター} や Ionut Guluna {ヴォーカル} や Hayden Powell {トランペット} や Jo Skaansar {コントラバス} のジプシー音楽の名手達との共演作。ジプシー音楽を「ヨーロッパのブルース」と呼ぶ Solfrid の唄は、ジプシー音楽の故郷に回帰するかのようにノスタルジックで憂いが感じられるもの。2011 作。KKV)

*CACI VORBA: Tajno Biav B
(ワールド・ミュージック・シーンに突如現れたポーランドのジプシー/バルカン系グループ Caci Vorba の二作目。ブルガリア、ルーマニアそしてロシアのジプシー音楽を、その音楽の心を体内に染み込ませ、その上でワールド・ミュージック感覚の柔軟かつ幅広い音楽性を持った魅惑の音楽のもと、Maria は舞い踊るようにうたう。まるで東欧の深い不思議の森へと誘われるよう。2011 年、ワールド・ミュージックのベスト・アルバム。2011 作。Oriente Musik)

*HAPELUSH: Hapelush C
(オーストリアの男性三人組一応クリスマス・グループ。ギターとコントラバスはジャズのセンスを持ち込み、クラリネットはクリスマスの香りを立てる。スウィング・クリスマスでも名付けた知的でいおしゃれ感のあるセンス抜群のクリスマス風音楽である。酒場なんかで聴いたら、すぐに酔いそう。2009 作。Extraplatte)

*MAZZELTOV・ROLINHA KROSS: Amsterdam C
(Rolinha をヴォーカルに迎えたヴァン・クリスマス・バンドの Mazzelton は凄い。即興性のある「あうん」の息は、ヴァン・ジャズ・ミュージシャンの即興演奏のようでもある。Mazzelton のクリスマス・ヴォーカルの真髓的入魂のヴォーカルはある種霊的でもあり、唄の情感・情緒は深い。2008 作。Frea)

*WUPPINGER & L'ORCHESTRA EUROPA: Le Grand Rouge C
(ギター奏者の Frank Wuppinger が率いる男 6 人組ジプシー＝東欧音楽を中心に汎ヨーロッパ規模の異種交配というか異種混合音楽グループ。楽器編成はギター 2 台、アコ、ヴァイオリン、ベース、パーカッション。核を成す音楽はジ

- フジ・ギター音楽で、エキゾチックさやノスタルジックさを楽しむスタイル。2007 作。
Laika)
- *KLEZMIC ZIRKUS: Vitamine C
(ベルギーの 5 人組クレズマーバンド。楽器編成はクラリネット、アコ、エレキギター、トロンボーン、チューバ、エレキベース、ヴァイオリン、トランペット、パーカッション、サックス等。実験的で挑発的なクレズマー音楽を創作。ある種クレズマー音楽最前線。2007 作。
Home)
- *STRIGAT: Jab B
(オランダの異色のバルカン音楽グループ [トリオ]。楽器編成はトランペット、アコーディオン、ティンパロン。バルカン音楽なのだが、ジャズっぽいバルカン音楽というか音楽する発想が自由で、それぞれの楽器が遊ぶ感じで、どこかおどけた感じの音楽。楽器と楽器がおしゃべりし、時々笑わせたり、気まぐれにスウィップしたり、真面目に遊ぶ音楽。2009 作。Karnatic)
- *KALI GERCHEN: Kaj Te Zav Kam Ist B
(スロヴァキアのジプシー・トリオに Zanita Stipakkova という女性シンガーがゲスト参加のギター一本の伴奏の唄中心のジプシー音楽。唄のほとんどはロシアの伝統歌で、Zanita のヴォーカルをフィーチャーし、男性ヴォーカルがハーモニーする彼らジプシー音楽は、どちらかと言えば、スペインのジプシー音楽に近い。2008 作。Pavian)
- *BALKANBEATS VOLUME 3 D
(ニューヨークのラテン・ユダヤ・ジプシー・ジャズ・アメリカン・ルーツごちゃ混ぜでアビックに妖艶なバルカン・ビート・バンドの Slavic Soul Party を皮切りにとびっきり活きの良いのが 15 バンドも。刺激的。Eastblok)
- *CHERNO MORE: Grabacion En Dreeto B
(Nasco Kristov [アコ], Ivo Kristov [各種笛] のブルガリア人二人とアラブ系アフリカ人の Wafir [ウード] のトリオ。ブルガリア人二人による民族色を強く打ち出したエキゾチックなバルカン音楽と Wafir のウードをフィーチャーした魂の響きとでも言いたいような魂揺さぶる民族色豊かな悠久の音楽。2007 作。Almoukri)
- *63 STRINGS: 63 Strings B
(イタリアのジプシー・ジャズのトリオにアメリカ人ハーブ奏者の Park Stickney がゲスト参加のジプシー・ジャズ音楽。9 曲中 8 曲が Django Reinhardt の曲で Django のジャズとジプシー音楽とのフュージョンを即興的に演奏。2006 作。FolkClub Ethnosuoni)
- *CIGANYOK "A Karpat-Medenceben" C
(“Gypsies In The Carpathian Basin”。2004 作。Etnofon)
- *BEN-CANAR: Nodudai C
(イスラエルとシリアの国境の町に住むユダヤ人作曲家でバス、ウード、ギター奏者でシンガーのポーランドとロシアのポーランド [家族の故郷] やバルカンなど様々な地のユダヤ音楽やシリアの喉歌や中世音楽などにインスパイアされて作曲した曲をオエンタル・ムード漂うサウンドとシンキングで、時を超え、土地を超え、夢の旅をする。2002 作。Orange World)
- *BRAVE OLD WORLD: Bless The Fire (2003 作。Pinorrek) C
- *THE KLEZMATICS: Jews With Horns (94 作。Pi'ra:nha) B
- *JOKKE SCHREURS TRIO: Jokke Schreurs Trio B
(ジプシー・スウィング・トリオ。2001 作。Wild Boar Music)

*THE KLEZMER CONSERVATORY BAND:A Taste Of Paradise A
(2003 作。Rounder)

*JOAQUIN DIAZ:El Alma Es Dulce D
(18 曲入 CDブック。ブックは普通と違って和紙も使われたアート感覚あふれるもの。音楽はセファルティ{スファティ}。これぞ J. Diaz の唄! のそれぞれの唄の世界に思いを馳せた柔らかな唄達。w. Luis Delgado, Javier Coble, Diego Galaz, Jaime Munoz, Cuco Perez。2001 作。tf.media)

*KROKE:The Sounds Of The Vanishing World B
(99 作。Oriente Musik)

*PJOTR LESCHENKO:1931 A
(副題"Gipsy Songs&Other Passions"。97 作。Oriente Musik)

[LP/JEWISH, GYPSY他]

*ANGEL CARRIL:Kerensya Sefaradim ¥1980
(LP です。倉庫で発見。副題"Musical Tradition of Spanish Jews"。90 作。スピンSaga)

[CD/ISRAEL]

*LA FLUTE D' ISRAEL "Reviyat A Markidim" ¥1500
(英題"Flute Of Israel"。Buda Musique)

[CD/KURDISTAN]

*NIZAMETTIN ARIC:Azadi A
(30 年もの間、国外で流浪生活を送る大物クルド人伝統音楽歌手の Nizamettin の本作は平和、平等、祖国愛を詩に詠んで来た二人のクルド人詩人の詩に Nizamettin が曲を付けてうたったもの。音楽はアラブ音楽的情感が沸き立ち、Nizamettin の唄はどっしりとして、コブシをゆっくりと回す。その確固たる歌唱の素晴らしさは肩を並べる民衆音楽歌手を見つけるのが困難なほど。魂の唄。2011 作。Kalan)

[CD/LEBANON]

*FARID ELATRACHE:Farid Eltrache A
(90 作。Voice Of Lebanon)

*FARID ELATRACHE:The Best Of Farid El Atrache A
(ライヴ。90 作。Voice Of Lebanon)

[CD/ALGERIA]

*CHEIKH RAYMOND:Anthologie 1937-1961 D
(アラブ人に愛されたユダヤ人音楽家で、アラブ・アンダルシア音楽の巨匠シェイク・レモン{1912 年生まれ}の 3 枚組ボックスセット。シェイクが、エンリコ・マリアスの父シルヴァン・グレナツァと設立したレコード会社 Raysylophone の貴重音源からの全 20 曲。ディスク 1 が 1937~1954 年、ディスク 2 が 1958~1959 年、ディスク 3 が 1957~1961 年の録音。シェイクはウードの技で、20 歳の若さで、「マスター」と称されたという。初 CD 化。ウードの弾き語りを中心にした素朴なアラブ・アンダルシア音楽はルーツ的味わいに満ちている。P50 の解説書付。

2011 作。Universal)

- *WARDA: A L'Olympia Vol. 2 A
(フランス生まれのアルジェリア人歌手 Warda の歴史的録音盤。92 作。Club Du Disque Arabe)

[CD/MALI]

- *ARNALDO ANTUNES・EDGARD SCANDURRA・TOUMANI DIABATE
: A Curva Da Cintura C
(コラ奏者の T. Diabate とブラジルのシンガーの A. Antunes とブラジルのギター奏者の E. Scadura とによるマリとブラジル音楽の折衷音楽。ブラジル人お二人さんの音楽に即興的に割り込む Toumani の演奏が素晴らしい。ゲスト: Sidiki Diabate [コラ], Safiatou Diabate [ヴォーカル]。2012 作。Mais Um Discos)
- *JAYME STONE & MANSA SISSOKO: Africa To Appalachia B
(マリのギターでコラ奏者の Mansa とバングヨー奏者の Jayme のコラボ。全 13 曲。2008 作。Jayme Stone)

[CD/SENEGAL]

- *LAYE SOW: Djamano A
(北セネガルの Fula のシンガーでギター奏者で唄のほとんどは Fula 語。唄の響きはグリオに近いし、Laye のギターもコラの響き。そこに Richard Caswell なるギター奏者がスライド・ギターでブルースの香りを注ぐ。兄弟の音楽のように流れのままにナチュラルに響演してるのが気持ちいい。2004 作。ポラント Orange World)

[CD/GUINEA]

- *DJELI MOUSSA CONDE: Womama B
(滞仏 20 年のギニア人グリオでコラ奏者でシンガーの Djeli Moussa Condé の新作で通算二枚目。本作はルソン・マンテラ [1918 年 - 2013 年] に捧げた "Mandela" など広く「アフリカ」に捧げたアルバム。白人演奏家達との共演による本作は、アフリカ音楽からラテン音楽までの幅で音楽の幅が広く、コラ奏者として西アフリカのグリオの音楽をどのグリオの音楽よりもカラフルでトピカルでジャンプ力のあるワールド・ミュージックに仕上がっている。2015 作。Buda Musique)
- *MORY KANTE: Sabou B
(西アフリカのコラの第一人者。本作は全面アコースティックの伝統的グリオの伝統音楽に帰ったもので、コラとハラフオンを要にしたカラフルなリズムと Mory と女性シンガーとのユーモラスな掛け歌はすこぶる快感。ヴォーカルを含め様々なサウンドが踊るように響き合う。素晴らしい！2004 作。Riverboat)

[CD/CAMEROUN]

- *SALLY NYOLO: Tribu ¥1780
(World Music 的に音楽的にレベルの高い Sally の民俗的かつ呪術的唄とコラ&レスナンスそしてホップで民俗色濃厚な音楽。Coeurdelion)

[CD/MOZAMBIQUE]

*MUSIC FROM MOZAMBIQUE (スウェーデンCaprice。2001 作) B

*WAZIMBO&ORCHESTRA:Nwahulwana B

(CD-ROM 機能付 CD。カラフルな大衆音楽だ。ポルトガル音楽の上にブラジル音楽、カリブ音楽、スークそれにロックまで貪欲に呑み込み、エネルギッシュでダイナミックな大衆音楽を生み出している。ダンサーが4人も付いてリヤー、音楽も飛び跳ねるなあ。CD-ROM はタイトル曲のライブ・ビデオ。2001 作。ドイツPiranha)

[CD/MADAGASCAR]

*WORLD BEAT VOL. 7 "Madagascar" ¥1680

(16 曲入編集 CD。フランスCelluloid)

*MADAGASCAR ¥1680

(副題"Music of Madagascar—Rossy, Tselonina, Mahaleo, Matrimbala, Justin Vali&Lolo Sy Ny Tariny"。93 作。ドイツWorld Network)

[CD/VENEZUELA]

*SON DE CHUAO:Sabor A Cacao B

(副題"Afro-Caribbean Percussion Music and Dance from Venezuela's Cocoa Coast"。2000 作。Pan)

*OSCAR D' LEON:Live ¥2940

(カリブーラテン・アメリカの最大のスター、Oscar D' Leon のアムステルダムでのライブ。キューバの名曲を中心にした全 10 曲。ホンパ)

[CD/BRAZIL]

*MARIA BETHANIA:Encanteria B

(「魅惑」の意のブラジルを代表する歌姫マリア・ベターニアの本作はオリジナル盤は 2007 年作のよう。守備範囲外の南米音楽だが、Maria の優しく包容力あるガウチアルといい、ラテン・ムードたっぷりな上質の大人の音楽といい、ブラジル大衆音楽として格別極上の味わい。スペインDiscmedi)

[CD/USA, MEXICO, CANADA, FRANCE, SPAIN]

*LHASA:Living Road A

(fRootsベストアルバム2005 の 2 位。父親がメキシコ人で母親がアメリカ人で現在カナダのケベックに住み、英語、フランス語、スペイン語で唄うという魅惑の不思議女性 SSW。Lhasa はスペイン、メキシコ、ラテン、シャンソン等の文化的音の香りを香らせながら、例えば Leonard Cohen のような語り口でドラマティックに唄う。2004 作。Sodec)

[CD/CHINA]

*プリシラ・チャン:ラスト・ライヴ ¥2625

(以前販売した 2 枚組 CD を棚で発見。香港で人気ナンバーワン歌姫プリシラ・チャンの引退記念ライブ。89 作。ドラゴン・レコード)

[CD/OKINAWA]

*沖縄舞踊特集 第一集 ¥2000

(台風で屋根が飛んだときの被害盤。ジャケット裏面に水に濡れた痕跡以外は新品同様。1989 作。マルフク)

*りんけんバンド:ありがとう ¥2000

(1987 作。保存期間が長いので、検盤してお送りします。Wave)

*りんけんバンド:アジマア ¥2000

(1992 作。保存期間が長いので、検盤してお送りします。ソニー・ミュージック)

*SHOUKICHI KINA AND CHAMPLOOSE

:Music Power From Okinawa(1997 年/1991 作。GlobeStyle) C

[CD/VARIOUS COUNTRIES]

*LIVE AT THE CEDAR "Visionaries" ¥1500

(年に 150-200 回のライブを行なっているというアメリカはミネソタ州のライブハウスでのライブ集。世界各地からの出演者でそれぞれが個性的。収録順に Baaba Maal, Mari Boine, Cesaria Evora, Gillian Welch, Doc Watson, Dave Van Ronk, La Bottine Souriante, Liam O'Flynn & Arty McGlynn, Martin Sexton, Loudon Wainwright III, Koerner Ray & Glover, Greg Brown, Ani DiFranco, Ali Farka Toure, Bill Frisell。2007 作。Cedar Cultural Center)